

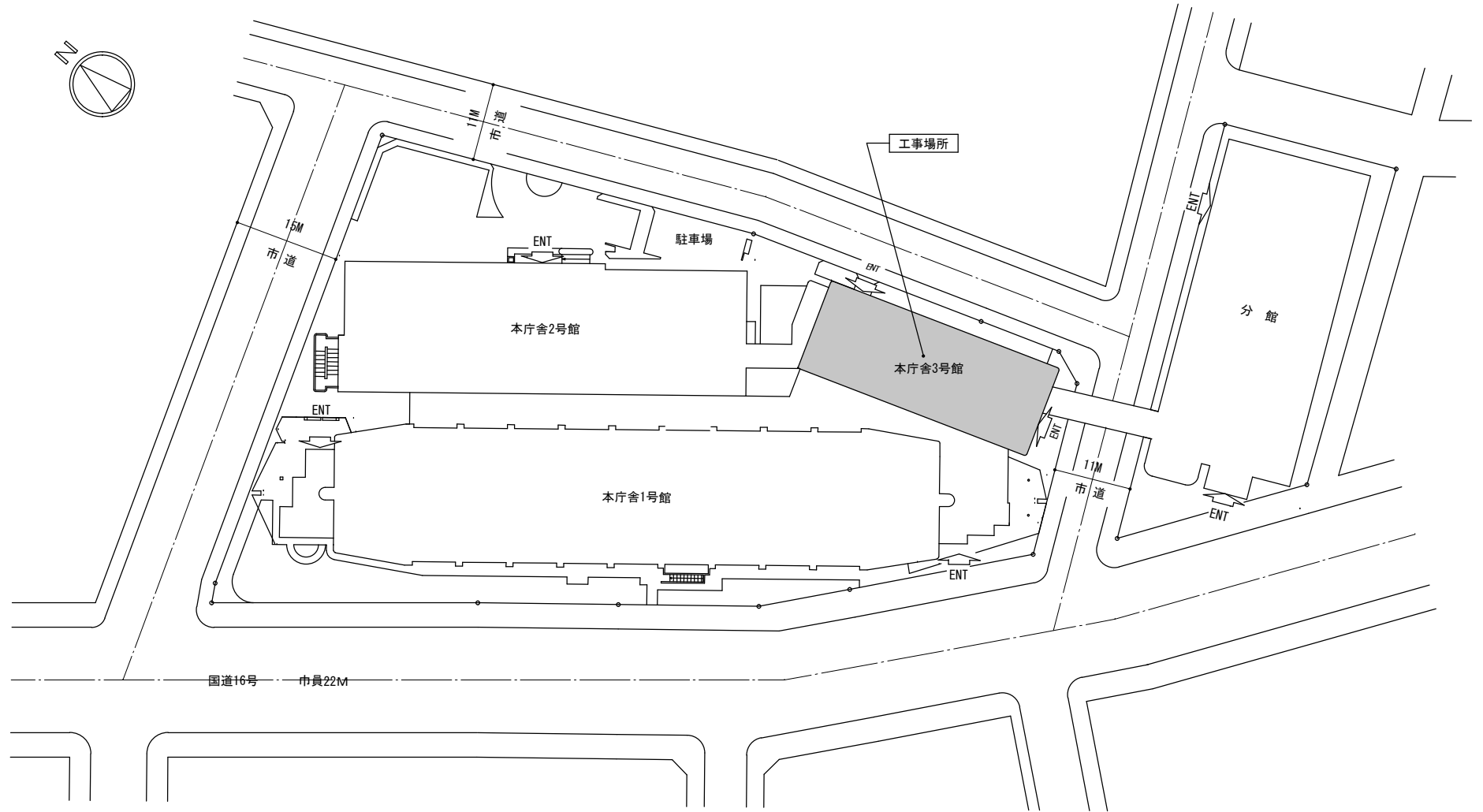
# 本庁舎3号館天井改修工事

図面リスト			
図番	意匠図	図番	意匠図
A-01	表紙・図面リスト	A-16	耐震天井仕様標準図
A-02	案内図・配置図・工事概要・区分表	A-17	仮設計画図（参考）
A-03	特記仕様書-1	M-1	凡例（消火、空調）、A-A'断面図、機械設備平面図（新設）
A-04	特記仕様書-2	M-2	機械設備平面図（撤去）
A-05	改修前 平面図・天井伏図		
A-06	改修前 断面図		
A-07	改修後 平面図・断面図・天井伏図		
A-08	建具配置図・建具表		
A-09	1F改修詳細平面図・雑詳細図		
A-10	SKW-1改修詳細図		
A-11	SS-1シャッター改修詳細図		
A-12	改修後 天井伏詳細図・断面詳細図		
A-13	エントランス天井伏図・断面詳細図		
A-14	改修後 膜天井・天井伏図		
A-15	改修後 膜天井・下地鉄骨伏図		

工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格 氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	表紙・図面リスト	図番	A-01	縮尺	— (A2)	作図	令和5年4月 日				



案内図



配置図 S=1:600

改修リスト

番号	改修内容
①	市民ホール、エントランスホールの既存天井材撤去工事
②	同上天井新設工事（膜天井、耐震天井）
③	ステンレス両開き自由扉 DP塗装改修
④	グリルシャッター改修ガイドレール除く、シャッターBOX DP塗装改修
⑤	既存壁複層塗材改修（A、C、D面）（下地洗浄+上塗り2回（トップコート））
⑥	柱型t2.3アルミエポキシ塗装面クリーニング（ワックス掛け）
⑦	パネル目地部アクリル板塞ぎ撤去及びパネル目地新設
⑧	スチール材下地調整RB種+DP塗装改修及びガラス打ち換え（5×5）
⑨	鉄扉、消火栓のEP-G塗装改修（C面）
⑩	壁：珪酸質タイル欠損改修
⑪	壁：珪酸質タイルクリーニング（工業用塩酸）
⑫	床：御影石パーナー仕上クリーニング（洗浄ブラシ+ワックス掛け）
⑬	排煙窓(AW-1) クリーニング3か所
⑭	柱型ブラケット照明撤去6か所（電気設備工事）
⑮	天井面ペンダント照明撤去4か所（電気設備工事）
⑯	公衆電話台取外し、再取付+EP-G塗装改修
⑰	AW-2(W1,100×H2,000) 網入り透明t6.8に改修（1か所）
⑱	シャッターBOX・EP-G塗装改修

□ 工事区分表

番号	工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事
1	既存塗装面の改修	○		
2	建具改修	○		
3	内装仕上げ材の改修	○		
4	天井面撤去等における足場	○		
5	天井仕上材、下地の撤去	○		
6	照明器具（シャンデリア9か所共）、配線、管の撤去、新設	○(台座)	○(昇降装置)	
7	自動火災報知設備の撤去、新設		○	
8	発生材運搬・処分	○	○	○
9	換気扇、ダクト、撤去、新設			○
10	柱型のブラケット照明の撤去		○	
11	同上撤去後の補修、仕上		○	
12	ペンダント照明器具の撤去		○	

□ 特記事項

・工事中に特記なき事項は、『公共建築改修工事標準仕様書』、『公共建築物標準仕様書』による。
その他、不明な内容については監督員と協議すること。
・施工にあたっては、施設運営者・監督員と協議の上工程表を作成し承諾を受けるものとする。
なお、工事対象部分は必ず実測を行い承諾をうけること。
・仮設計画は、仮設計画図を併せて参照のこと。
1) 工事部分の床、壁、内部階段の養生をおこなうこと。
・2階事務所、内部階段下事務所は運営中のため工事業者は施設運営者との連絡を密にとること。
・解体撤去に於いては、騒音、振動、防塵対策に十分配慮すること。

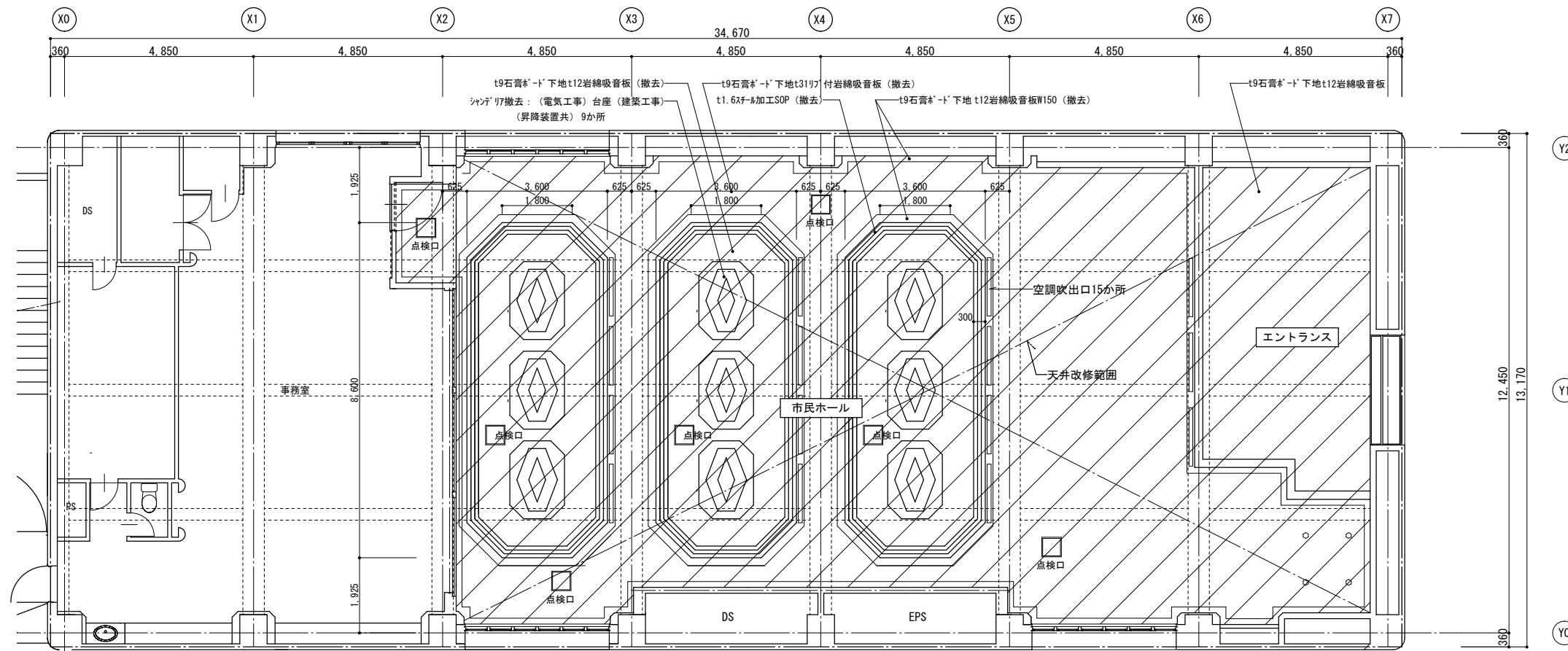
工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	案内図、配置図、工事概要、区分表	図番	A-02	縮尺	1:600 (A-2)	作図	令和5年4月 日				



6 内 装 改 修 工 事	① 基本要品質	[6.1.2] 特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤の揮発性の放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。	②0 せっこうボード その他のボード張り	[6.13.2][表6.13.1] 種 類 厚さ(mm)・規格等 ・硬質木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セメント板 ・15 ・20 ・25 ・けい酸カルシウム板 2172(無石棉) ・ケイカル化珪吸音板 ※777777(※9.0 ・12.0 ・ ) ・凹凸7777(※12.0 ・15.0) ((個)不燃) ・せっこうボード ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・不燃積層せっこうボード 9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トリアンチ模様) ・セージン'せっこうボード' ・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃) ・強化せっこうボード' ・12.5(不燃) ・15.0(不燃) ・難燃合板 ・普通合板 表板の樹種・ 板面の品質・ 厚さ ※図示 接着の程度・1種 ・2種 防虫処理・行 行わない	7 塗 装 改 修 工 事	⑧ 耐候性塗料塗り(DP)	[7.8.2]~[7.8.4][表7.8.1]~[表7.8.3] 下地の種類 塗替えの種別 新規塗りの種別 上塗り 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※A種 ① 1級 ・ 2級 ・ 3級 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※A種 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 コンクリート及び 押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B-1種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C-1種
	③ 施工数量調査	[1.6.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 ・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、ブラスタ、ボード等の面 調査内容 ひび割れの幅及び長さ等を壁面等に図示する。 モルタル、タイル、ブラスタの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。 仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。 ・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材 調査内容 既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。 天井下地組の強度、腐朽状況を調査する ・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。) 調査内容 建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。 ・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。 ・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したのについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。	②1 黒板及び ホワイトボード (20.2.8) 種類 区分 種類 寸法(mm) 備 考 ・黒板 ※焼付け ・鋼製 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分 ・ホワイトボード ・ ・ ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	⑨ つや有合成樹脂 エポキシ樹脂 イソシアネート塗料 (EP-G)	[7.9.2]~[7.9.5][表7.9.1]~[表7.9.4] 下地の種類 塗替えの種別 新規塗りの種別 コンクリート面、モルタル面等 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ※B種 木部 ・ A種 ※B種 ・ C種 ※A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ※B種 亜鉛めっき面 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ※B種		
	④ 既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2] ・ビニルシート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(※図示の範囲) ・行わない(※図示の範囲) [6.2.2] ・合成樹脂塗料床の材の除去工法 ・機械的除去工法 ※目荒工法 [6.2.2] 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	②2 壁名札 (20.2.10) 材 種 寸法(mm) 突出型 面付型 文字形式 受 金 具 ※塩化ビニル製 ※260×80×5 ケ所 ケ所 ・文字書込み ※ステンレス(SUS304) ・ケイカル樹脂製 ・300×300×5 ケ所 ケ所 ・文字彫込み ・県産杉板材 ※260×80×12 ケ所 ケ所 ・カッティングシート	③1 天井点検口 目地形状 適用箇所 寸法(mm) ・顔縁7777 下記以外全て ※450×450 ③2 目地7777 ※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲			
	⑤ 既存壁の撤去並びに下地補修	[6.3.2][4.4.9] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・[4.4.9]モルタル塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。	7 塗 装 改 修 工 事	⑧ 合板等	[6.5.2] 合板等 品 名 板厚 接着の程度 樹 種 防虫処理 ・普通合板 ※5.5mm ⑨ ※1類 ・2類 ・ 適用する ・構造用合板 ※12mm ・ 特類 ※1類 ・ 適用する ・化粧ばり構造用合板 ・ 特類 ・1類 ・ 適用する ・天然木化粧合板 ・ 1類 ・2類 ・ 適用する ・積層合板 ・18 ・ ・		
	⑩ 誤天井・耐震天井	天井下地 ※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による 下地材の間隔(mm) 施 工 箇 所 野縁受、吊りボルト、インサート 野 縁 中央部 周辺部 ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 既存の埋込インサート ・使用する ⑩ 使用しない あと施工アンカーの引抜き試験(※)行う 屋外の場合の試験 荷重 ⑩ 2000N以上 箇所数 ・当該階において3箇所程度 ⑩ 図示 ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 屋外の天井の補強(※)図示	⑦ ① 塗装業者 ※(社)日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する業者 ② 材料 屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。 [7.1.3] ③ 下地調整・素地 ごしらえ [7.2.1~7.2.7] 素地の種類 下地調整 素地ごしらえ 施工箇所 木部(不透明塗料) ・ A種 ・ RB種 ・ RC種 ※A種 ・ B種 ・ 図示による 鉄鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 図示による 鉄鋼面(DP塗) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 図示による けい酸カルシウム板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ 図示による ④ 錆止め塗料塗り [7.3.2][7.3.3][表7.3.1]~[表7.3.4] 下地の種類 錆止め塗料の種別 塗替えの種別 新規塗りの種別 鉄鋼面 ※A種 ・ B種 ・ C種 ⑩ E種 ※A種 ・ B種 見掛けり部分 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※C種 見隠れ部分 ・ A種 ※B種 亜鉛めっき面 ※A種 ・ B種 ・ C種 ※A種 ・ B種 新規鋼製建具等 ※A種 ・ B種 その他 ・ A種 ※B種	⑤ 合成樹脂調合 ペイント塗り(SOP) [7.4.3]~[7.4.5][表7.4.1]~[表7.4.3] 下地の種類 塗替えの種別 新規塗りの種別 木部 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 下地調整は 鋼製建具 ※亜鉛めっき面 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ※B種 各表の注意 ・鉄鋼面 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 書きによる その他 ※亜鉛めっき面 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ A種 ※B種			

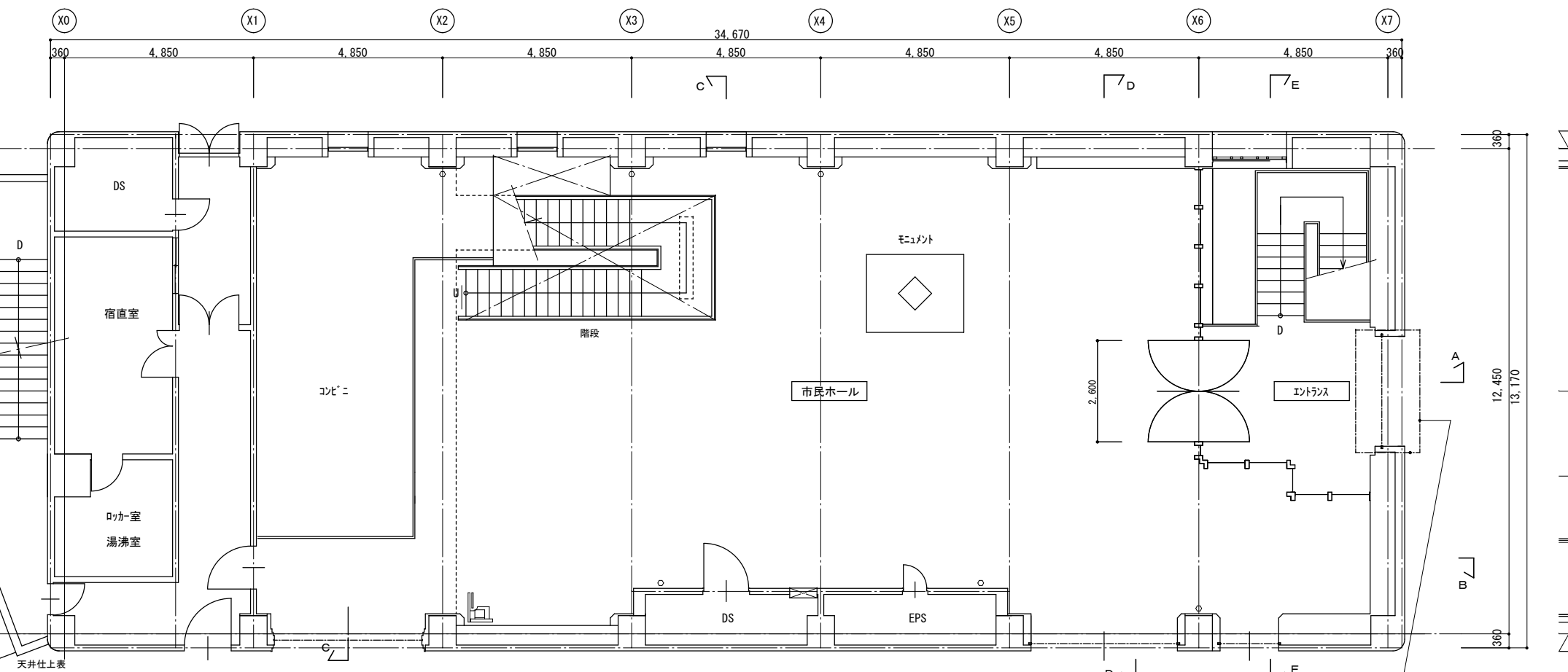
工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	特記仕様書-2	図番	A-04	縮尺	-(A2)	作図	令和5年4月日		



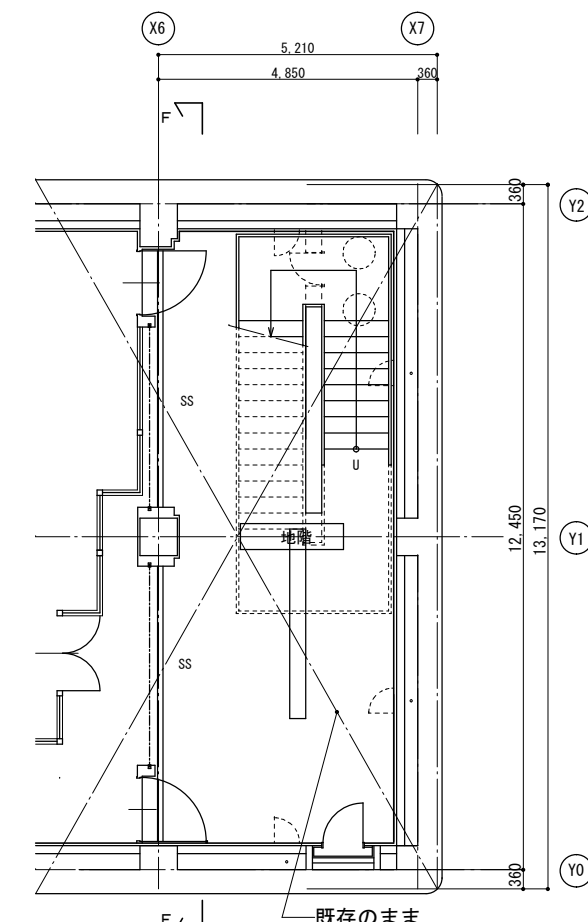


既存天井伏図 S=1:100

凡例 ① 天井撤去部分を示す



既存1階平面図 S=1:100

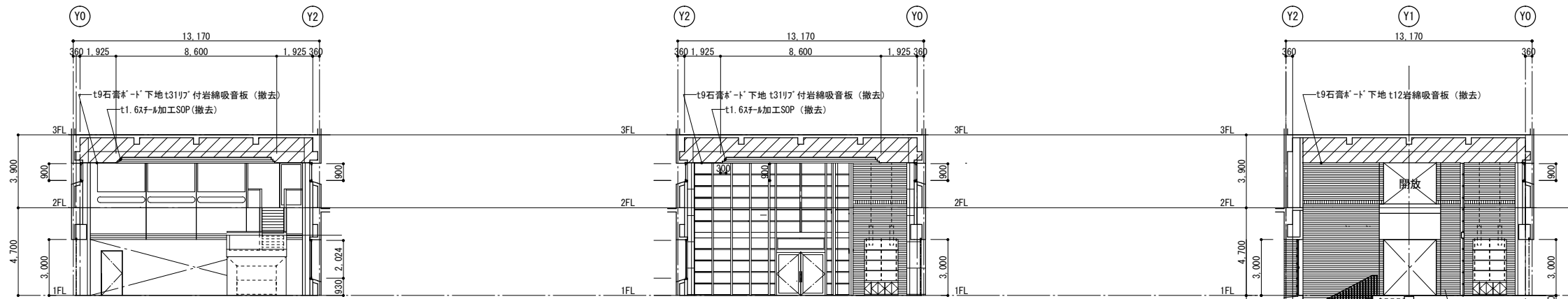


既存地階平面図 S=1:100

室名	天井	備考
市民ホール	改修前 t9石膏ボード下地 t3117 付岩綿吸音板 (下地共) (撤去)	膜天井(質量≦2kg/m <sup>2</sup> )・耐震天井(質量≦20kg/m <sup>2</sup> )
	改修後 膜天井及 t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	
エントランス	改修前 t9石膏ボード下地 t12岩綿吸音板 (同上) (撤去)	耐震天井(質量≦20kg/m <sup>2</sup> )
	改修後 t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	

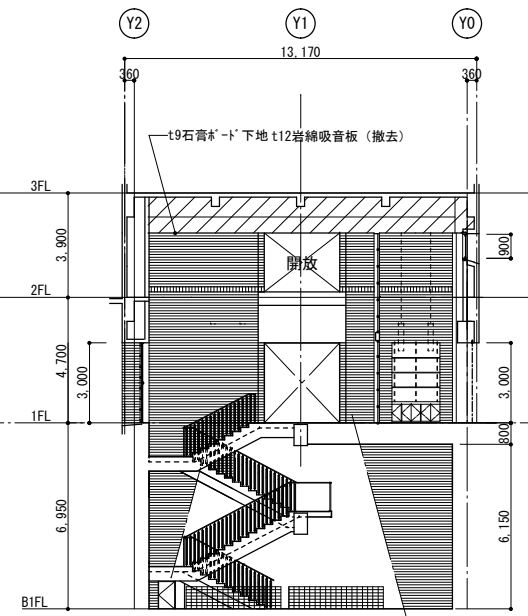
工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者
図面名称	改修前 平面図・天井伏図	図番	A-05	縮尺	1:100 (A-2)	作図	令和 5 年 4 月 日	

横須賀市  
都市部建築計画課

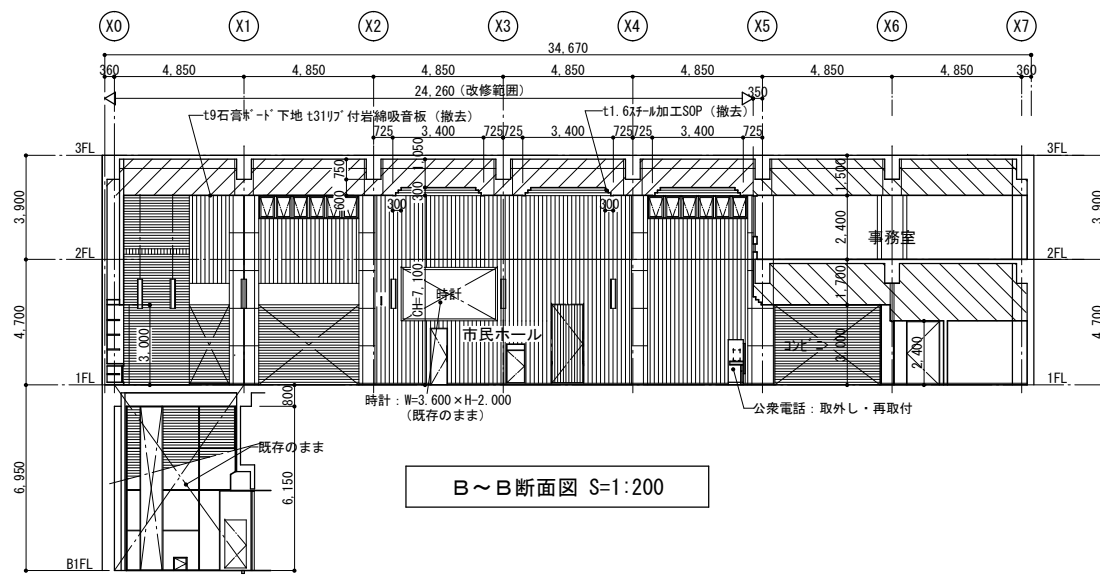


C~C断面図 S=1:200

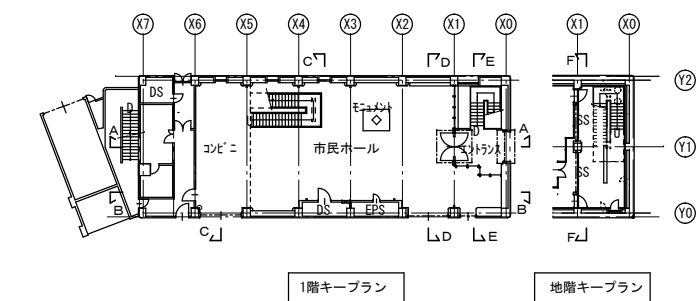
D~D断面図 S=1:200



E~E断面図 S=1:200

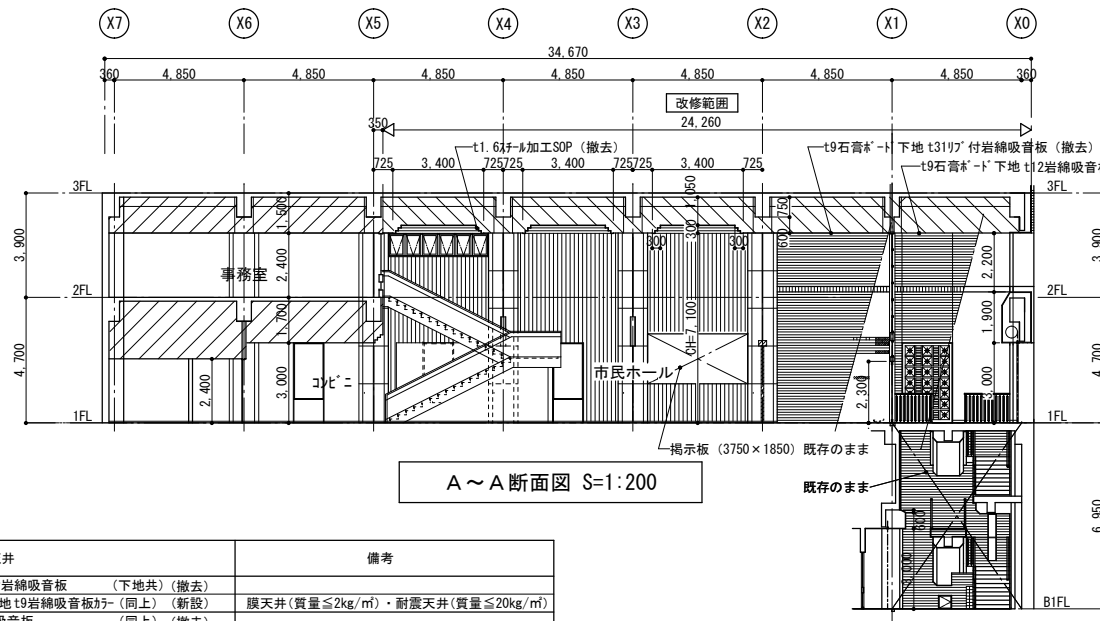


B~B断面図 S=1:200

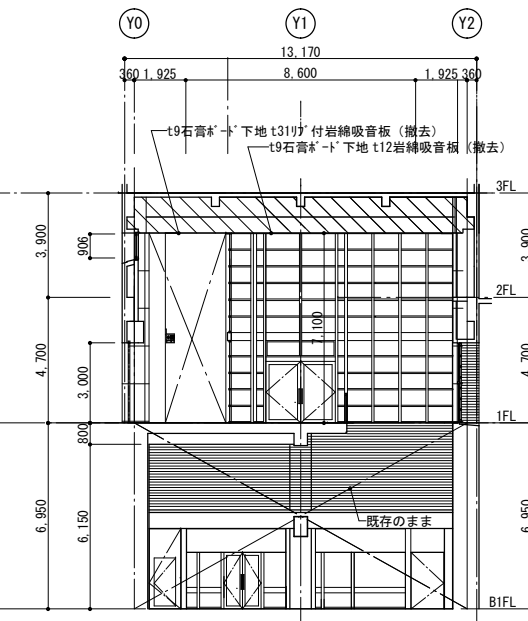


1階キープラン

地階キープラン



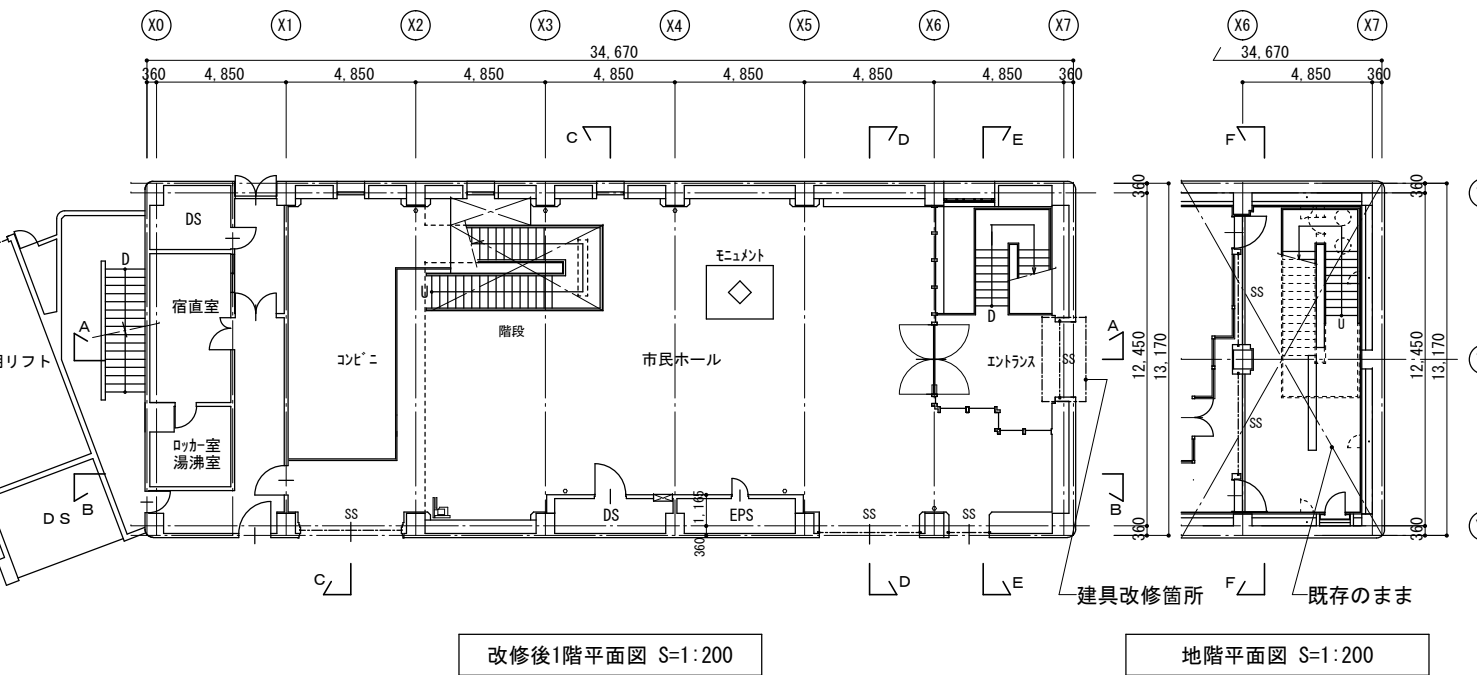
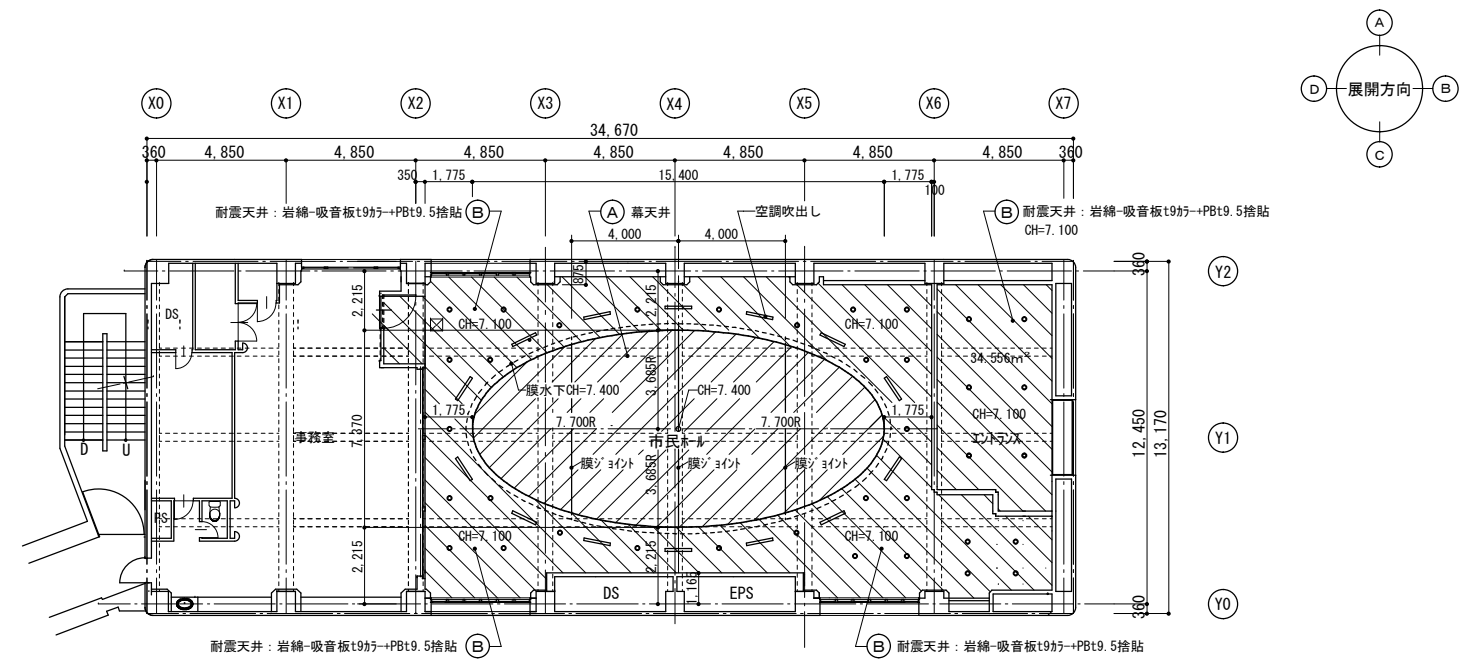
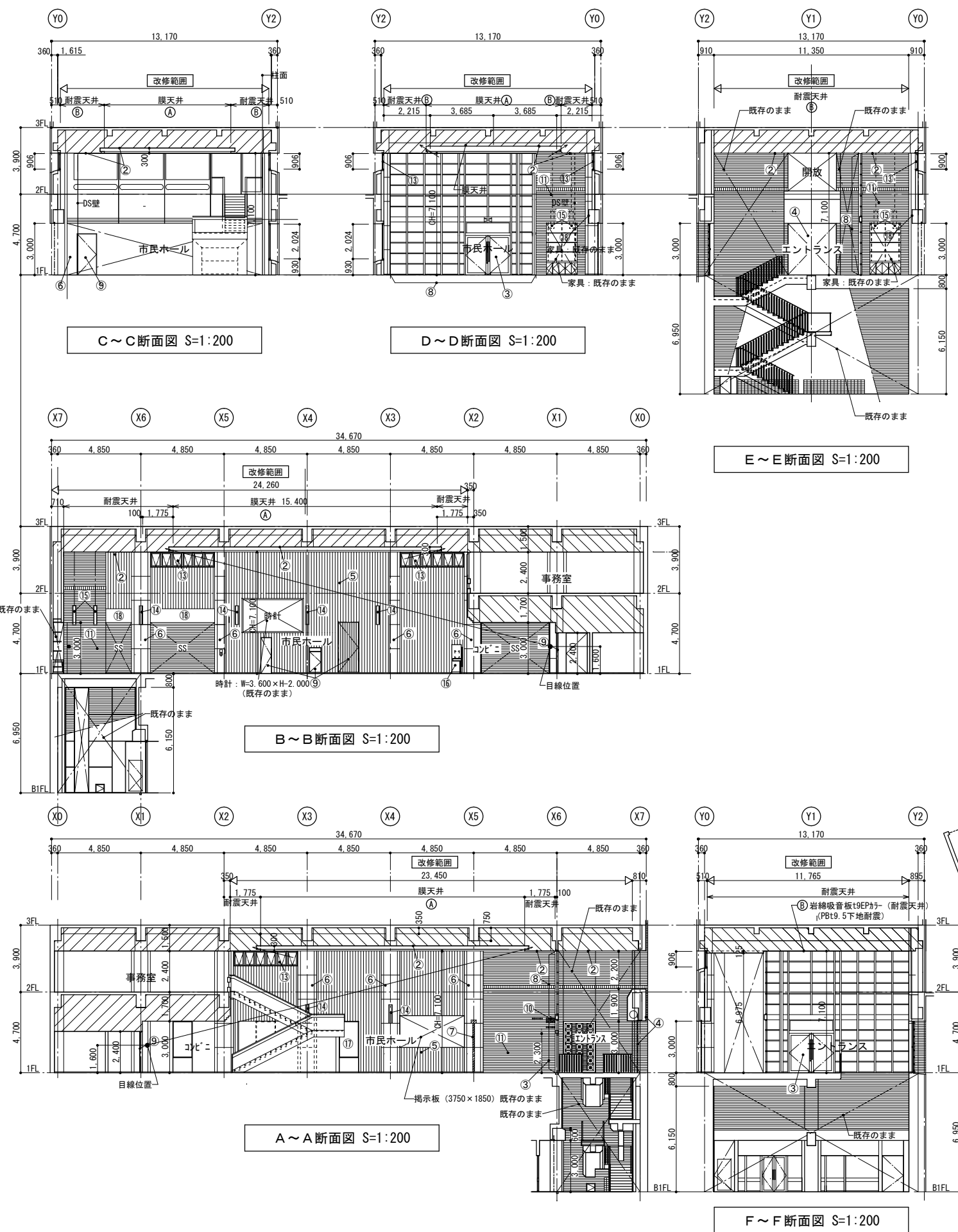
A~A断面図 S=1:200



F~F断面図 S=1:200

天井仕上表		
室名	天井	備考
市民ホール	改修前 t9石膏ボード下地 t3117付岩綿吸音板 (下地共) (撤去)	
改修後	膜天井及 t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	膜天井 (質量 ≤ 2kg/m <sup>2</sup> )・耐震天井 (質量 ≤ 20kg/m <sup>2</sup> )
エントランス	改修前 t9石膏ボード下地 t12岩綿吸音板 (同上) (撤去)	
改修後	t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	耐震天井 (質量 ≤ 20kg/m <sup>2</sup> )

工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名		課長		主査等		担当者		横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	改修前 断面図	図番	A-06	縮尺	1:200 (A-2)	作図	令和 5年 4月 日					

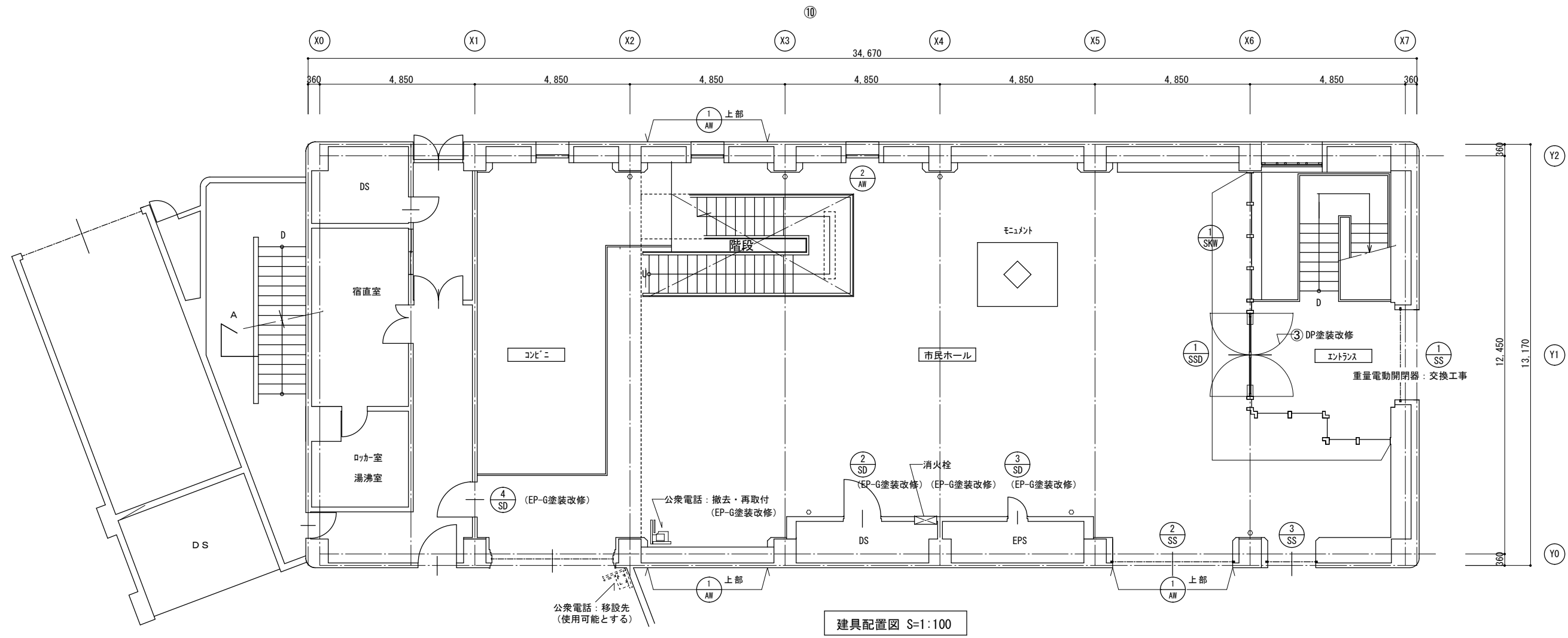


天井仕上表

室名	天井	備考
市民ホール	改修前 t9石膏ボード下地 t31リブ付岩綿吸音板 (下地共) (撤去)	膜天井 (質量 ≤ 2kg/m <sup>2</sup> )・耐震天井 (質量 ≤ 20kg/m <sup>2</sup> ) 吸音天井膜材 (膜厚: 0.47) 不燃材料認定品 NW-4223-1, NRC値: 0.69
	改修後 膜天井及 t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	
エントランス	改修前 t9石膏ボード下地 t31リブ付岩綿吸音板 (同上) (撤去)	耐震天井 (質量 ≤ 20kg/m <sup>2</sup> )
	改修後 t9.5石膏ボード下地 t9岩綿吸音板付 (同上) (新設)	

- 凡例
- (A) 市民ホール・(膜天井) (質量 ≤ 2kg/m<sup>2</sup>)
  - (B) 市民ホール・エントランス (耐震天井) (質量 ≤ 20kg/m<sup>2</sup>)

工事名	本庁舎3号館天井改修工事	設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	改修後 平面図・断面図・天井伏図	図番	A-07	縮尺	1:200 (A-2)	作図	

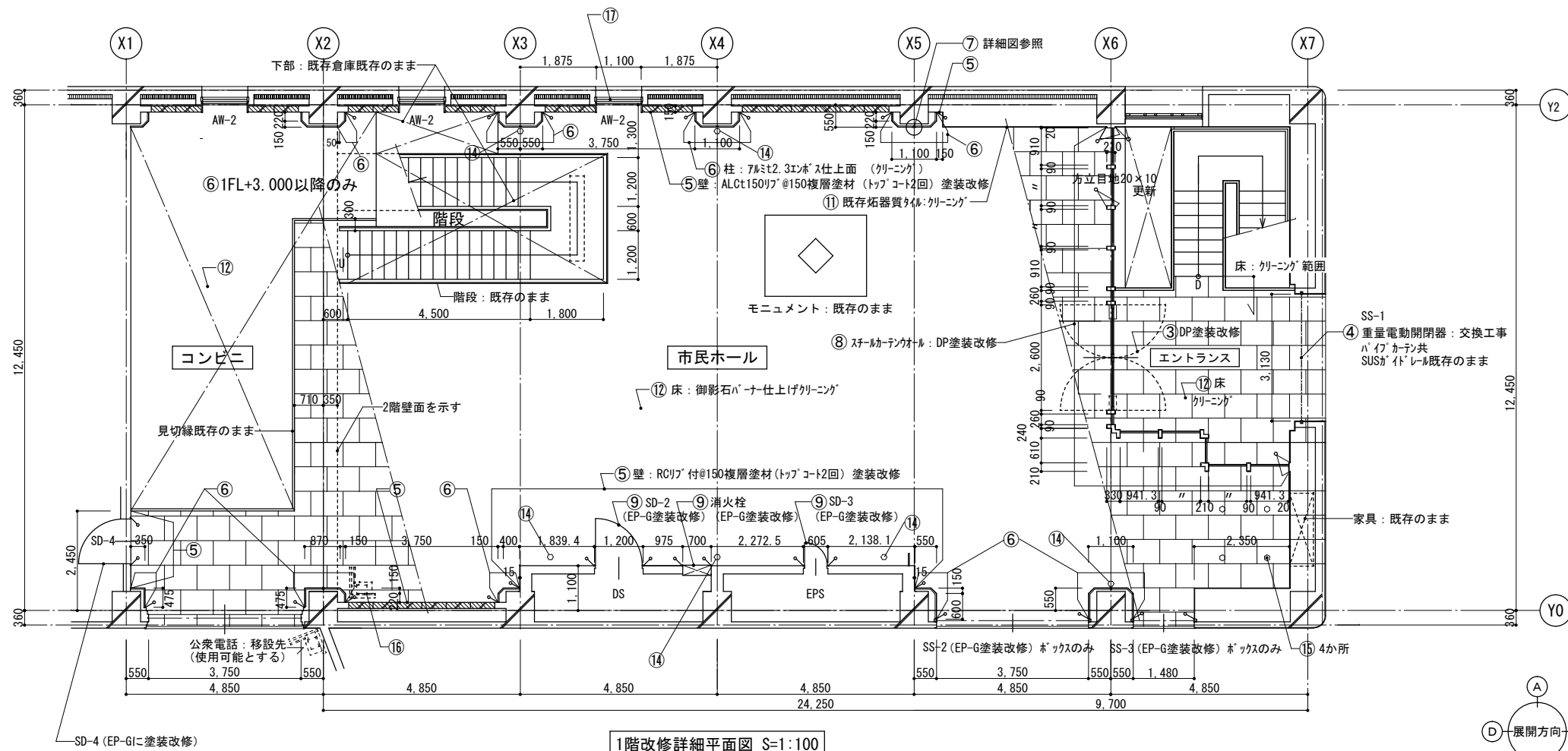


建具表 S=1:50

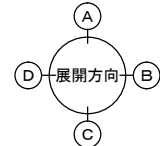
名称	数量	① SS 既存ステンレス両開き自由扉	② SD スチール片開格子扉	③ SD スチール片開扉	④ SD スチール片開扉		
数量		1	1	1	1		
図							
取付場所		市民ホール入口	市民ホール	市民ホール	市民ホール		
材質・仕上		DP塗装改修(両面)	EP-G塗装改修(両面)	EP-G塗装改修(両面)	EP-G塗装改修(両面)		
ガラス・見込			枠見込み100・格子見込み50	枠見込み100	枠見込み100		
金物							
備考		シール SR-1 (ガラス廻り)					
名称	数量	① SS SUS電動シャッター改修(ガイドレール既存のまま)	② SS スチールシャッター	③ SS スチールシャッター	① AW 既存のまま(クリーニング)	② AW	既存消火栓
数量		1	1	1	3	1	1
図							
取付場所		市民ホール	市民ホール	市民ホール	市民ホール	市民ホール	市民ホール
材質・仕上		SS*ガラスDP塗装改修	SS*ガラス EP-G塗装改修	SS*ガラス EP-G塗装改修			
ガラス・見込							
金物							
備考		シール改修(ガラス廻り)	シール改修(ガラス廻り)	シール改修(ガラス廻り)	シール改修(枠廻り)	シール改修(枠廻り)	シール改修(枠廻り)

工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	建具配置図・建具表	図番	A-08	縮尺	1:50, 1:100 (A-2)	作図	令和5年4月日		

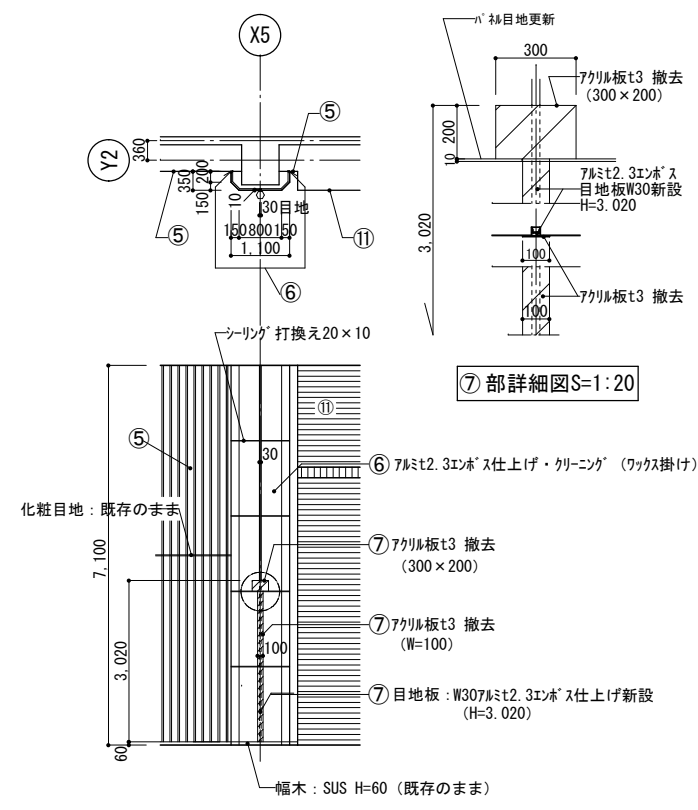




1階改修詳細平面図 S=1:100



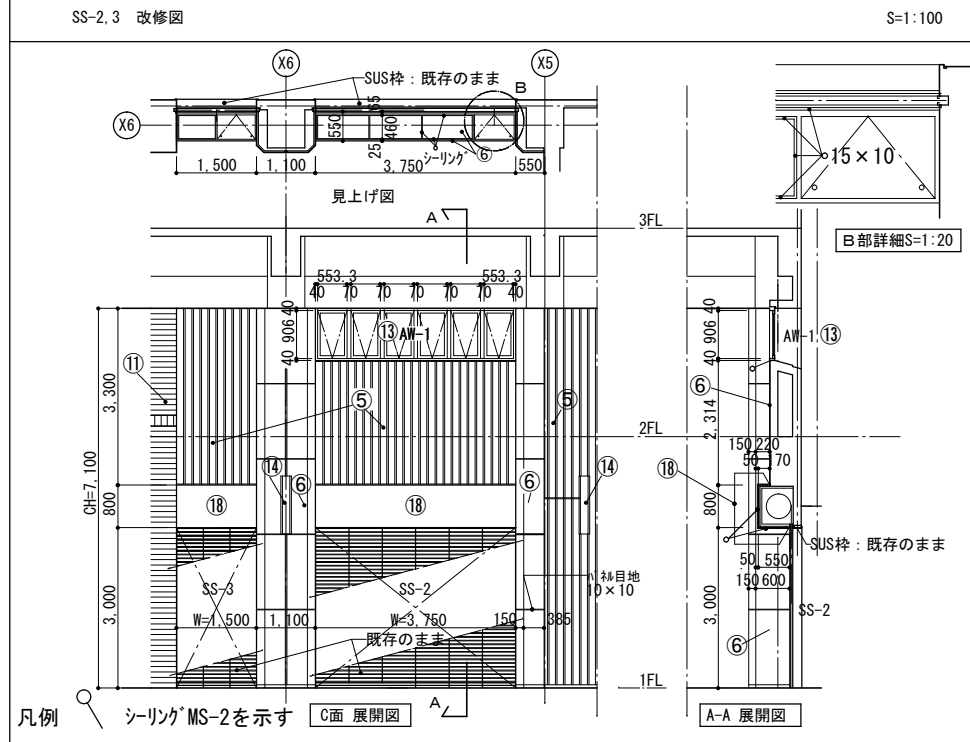
凡例 シーリングMS-2を示す (金属)  
SR-1を示す (ガス)



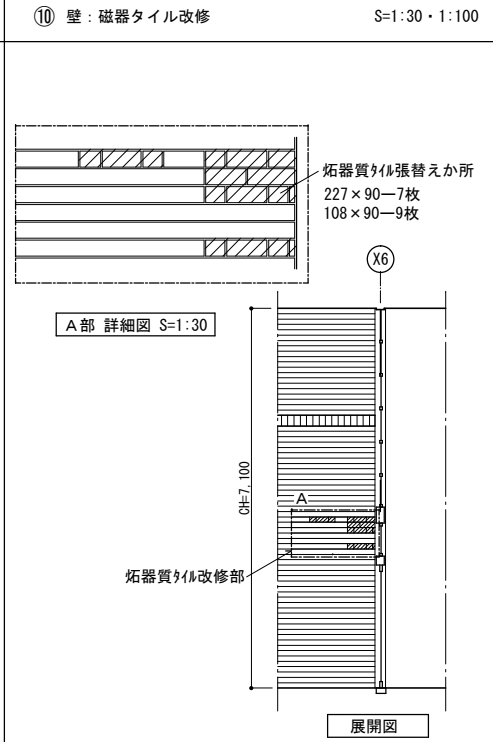
⑦ 部詳細図S=1:20

⑦ 柱廻り改修図S=1:100

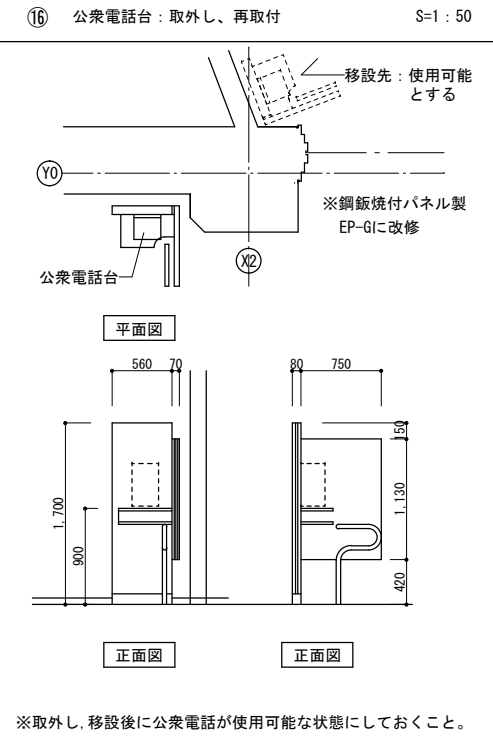
番号	内容
①	市民ホール、エントランスホールの既存天井材撤去工事
②	同上天井新設工事 (膜天井、耐震天井)
③	ステンレス両開き自由扉 DP塗装改修
④	グリルシャッター改修ガイドレール除く、シャッターBOX、DP塗装改修
⑤	既存壁複層塗材改修 (A、C、D面) (下地洗浄+上塗り2回 (トップコート))
⑥	柱型t2.3アルミエポキシ塗面の クリーニング (ワックス掛け)
⑦	パネル目地部アクリル板塞ぎ撤去及びパネル目地新設
⑧	スチールテンコール下地調整RB種+DP塗装改修及びガラスシール打換え (5x5)
⑨	鉄扉、及消火栓の EP-G塗装改修 (C面)
⑩	壁: 柘器質タイル欠損改修
⑪	壁: 柘器質タイルクリーニング (工業用塩酸)
⑫	床: 御影石パナナ仕上げクリーニング (洗浄ブラシ+ワックス掛け)
⑬	排煙窓 (AW-1) クリーニング3か所
⑭	柱型 プラケット照明撤去6か所 (電気設備工事)
⑮	天井面ペンダント照明撤去4か所 (電気設備工事)
⑯	公衆電話台: 取外し、再取付+EP-G塗装改修
⑰	AW-2 (W1,100xH2,000) 網入り透明t6.8に改修 (1か所)
⑱	シャッターBOX EP-G塗装改修



SS-2,3 改修図 S=1:100

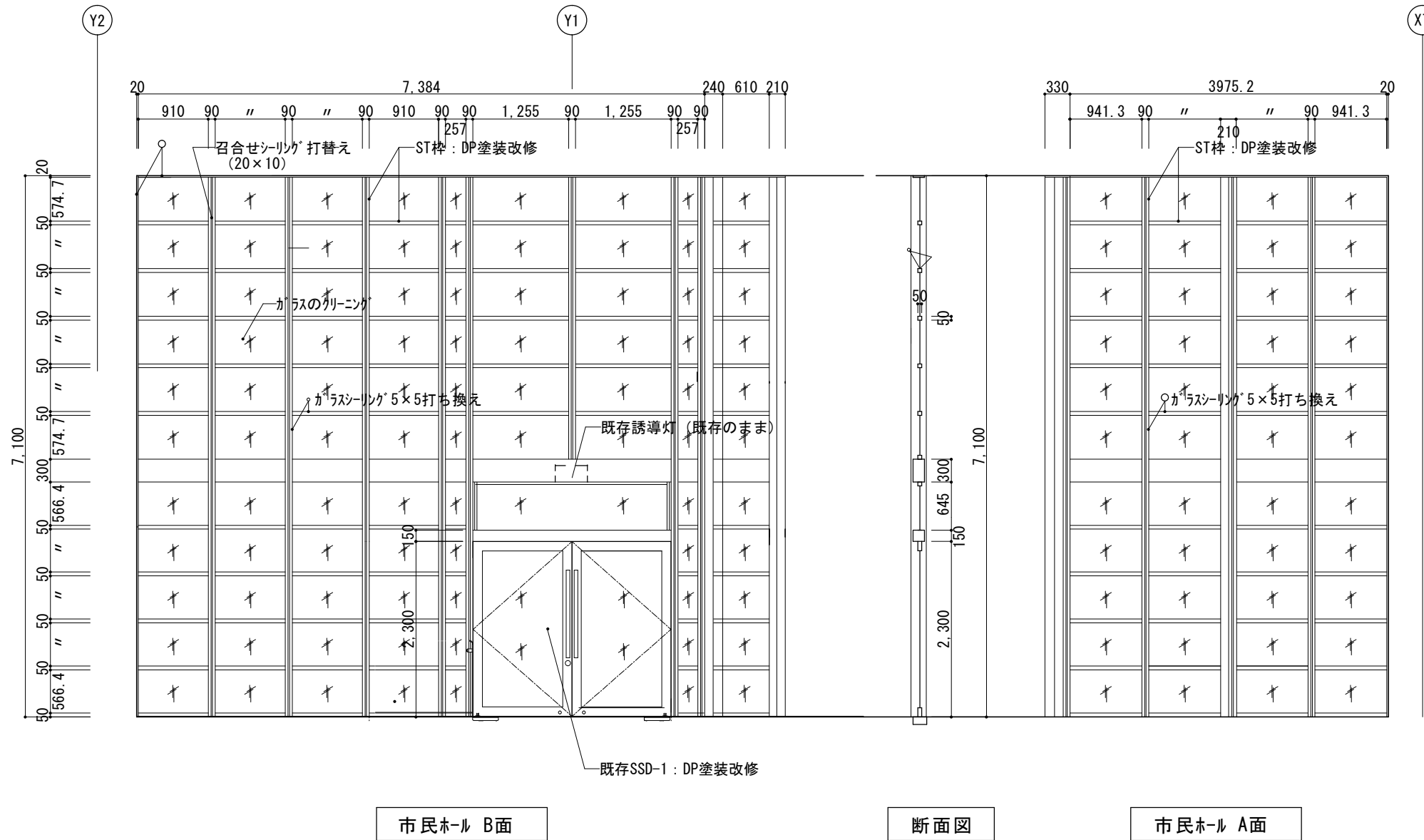


⑩ 壁: 磁器質タイル改修 S=1:30・1:100



⑯ 公衆電話台: 取外し、再取付 S=1:50

工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名				課長				主査等				担当者			
図面名称	1階改修詳細平面図・雑詳細図			縮尺	1:20, 30, 50, 100 (A-2)			作図	令和5年4月日			横須賀市 都市部建築計画課							
図番	A-09			縮尺	1:20, 30, 50, 100 (A-2)			作図	令和5年4月日										





市民ホール B面

断面図

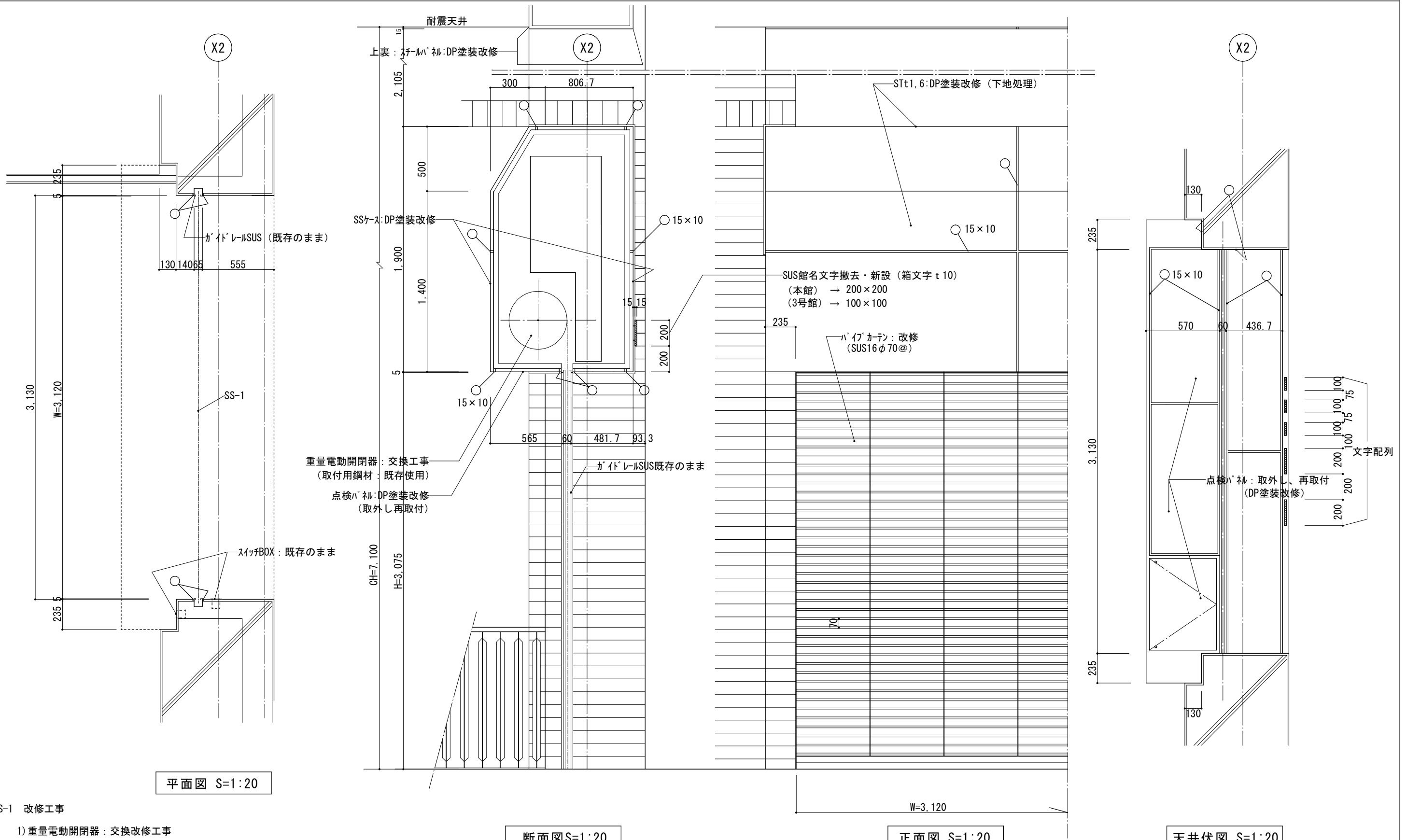
市民ホール A面

SKW-1 改修工事

- 1) 方立 (両面)、DP塗装改修 (下地調整RB種)
- 2) ガラスシリング 5×5打ち換え. 方立召合せ部のシリング 20×10
- 3) ガラスのクリーニング

凡例  
 シリング MS-2を示す (金属)  
 SR-1を示す (ガラス)

工事名	本庁舎 3号館天井改修工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	SKW-1 改修詳細図	図番	A-10	縮尺	1:100(A-2)	作図	令和 5年 4月 日				

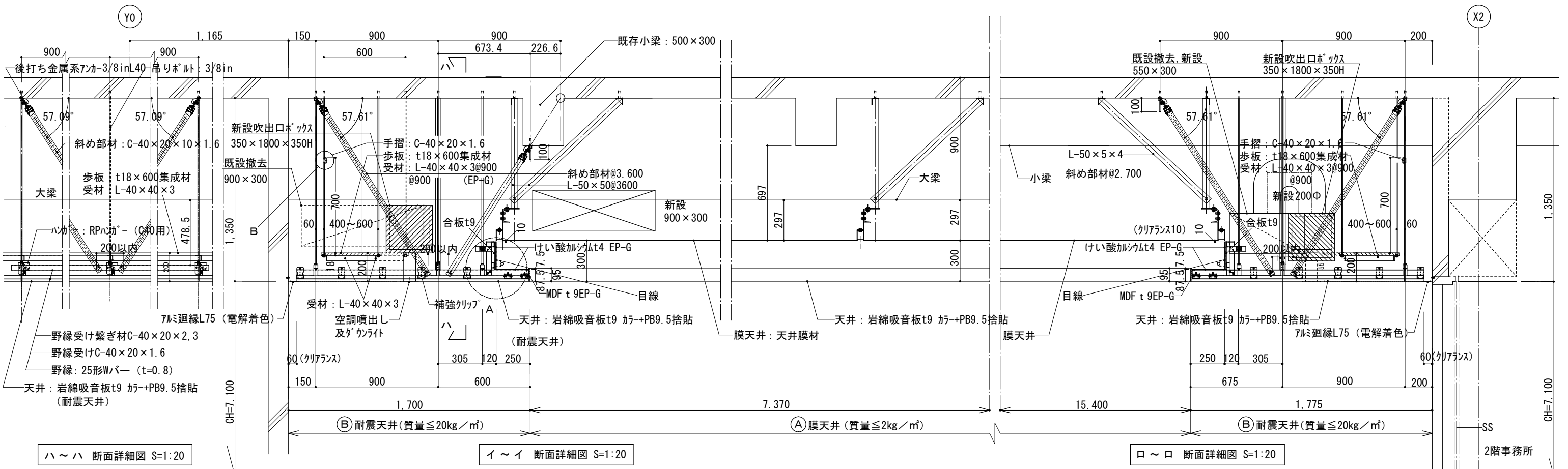


SS-1 改修工事

- 1) 重量電動開閉器: 交換改修工事
  - 2) パイプカーテン (SUS16φ70) 交換改修工事
  - 3) 上部シャッターボックス DP塗装改修 (下地調整RB種)
  - 4) 同上シリンク、ガイトレール廻り (15×10) 打換え改修
- ※急降下停止装置・障害物感知装置・(座板スイッチ方式)仕様

凡例 シーリングMS-2を示す (金属)

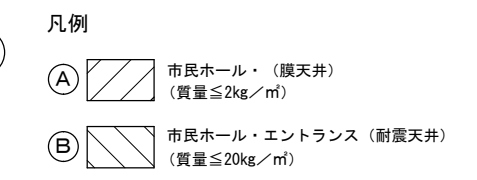
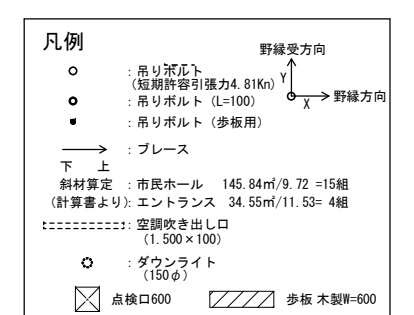
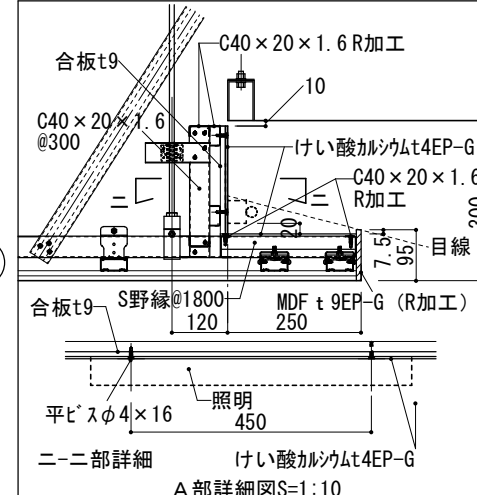
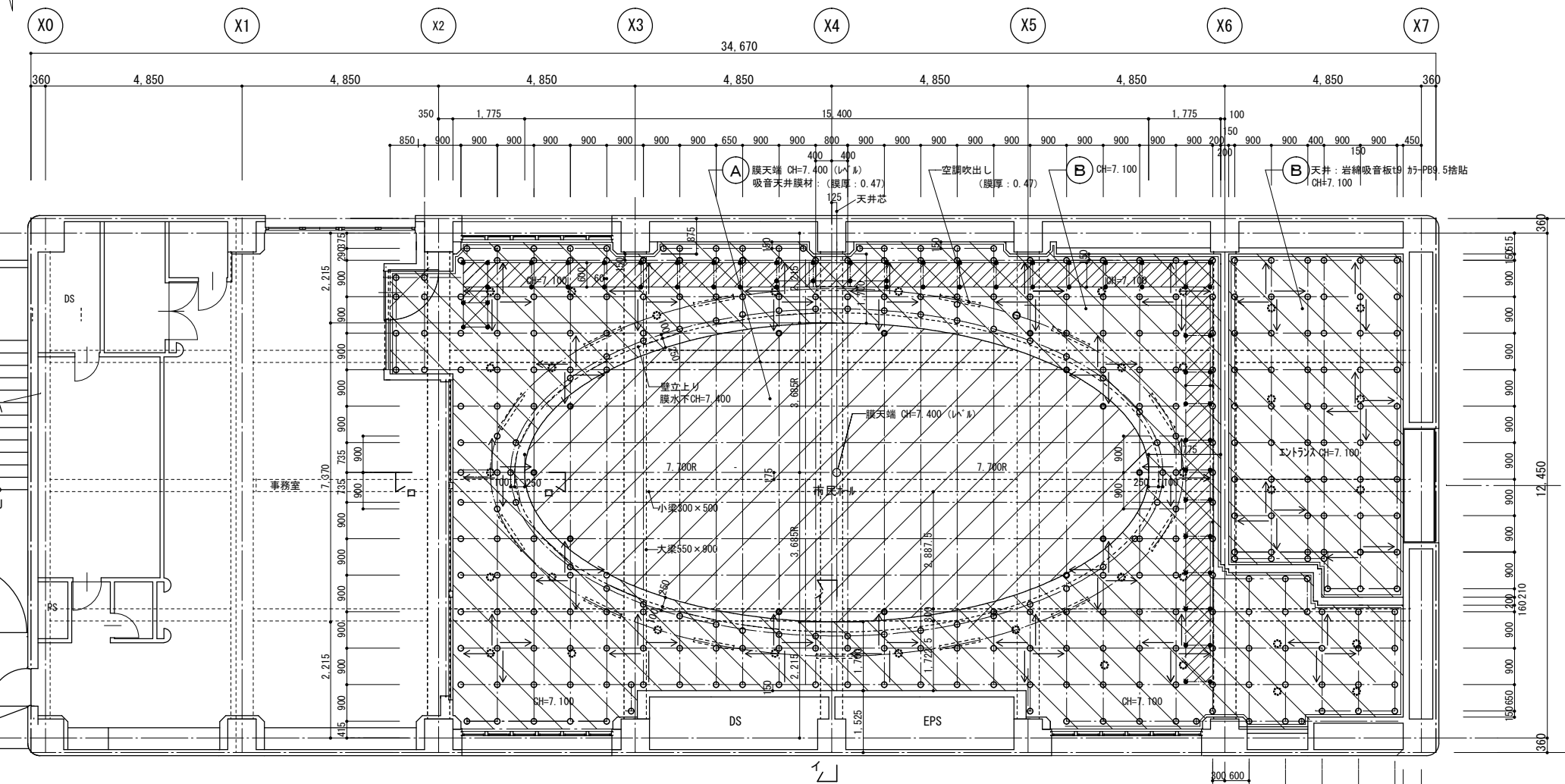
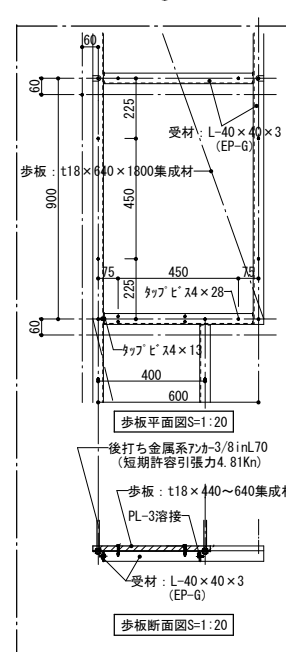
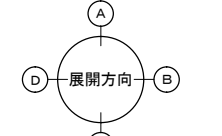
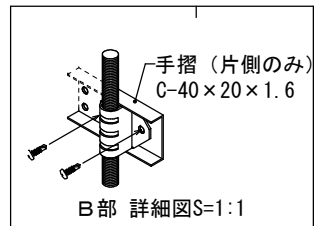
工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	SS-1シャッター改修詳細図	図番	A-11	縮尺	1:20 (A-2)	作図	令和5年4月日		



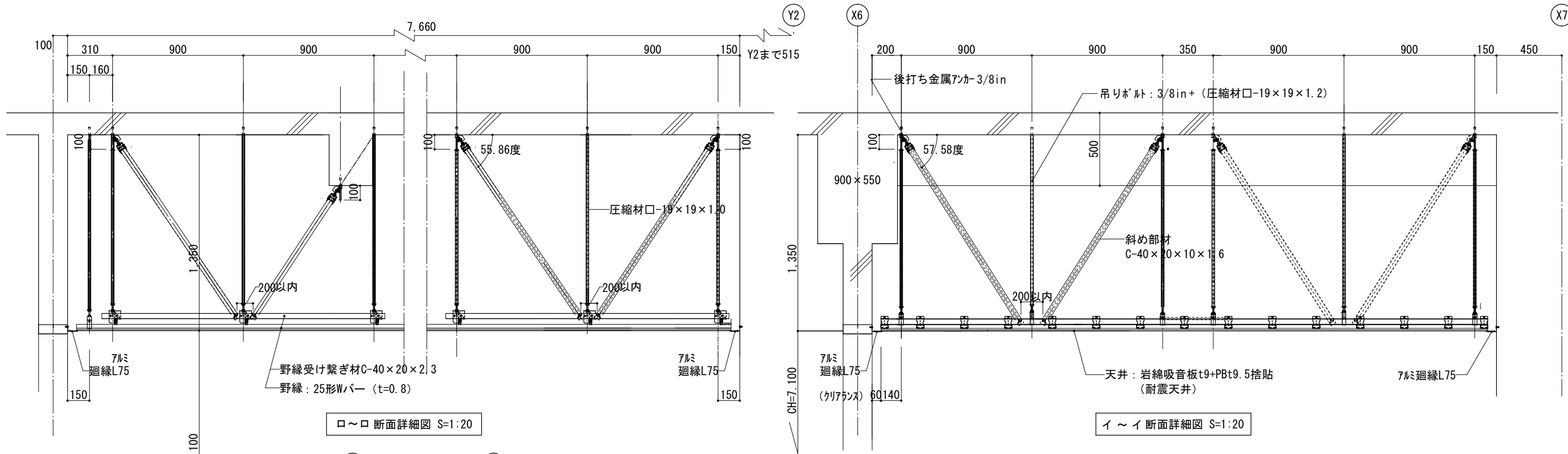
ハ～ハ 断面詳細図 S=1:20

イ～イ 断面詳細図 S=1:20

ク～ク 断面詳細図 S=1:20

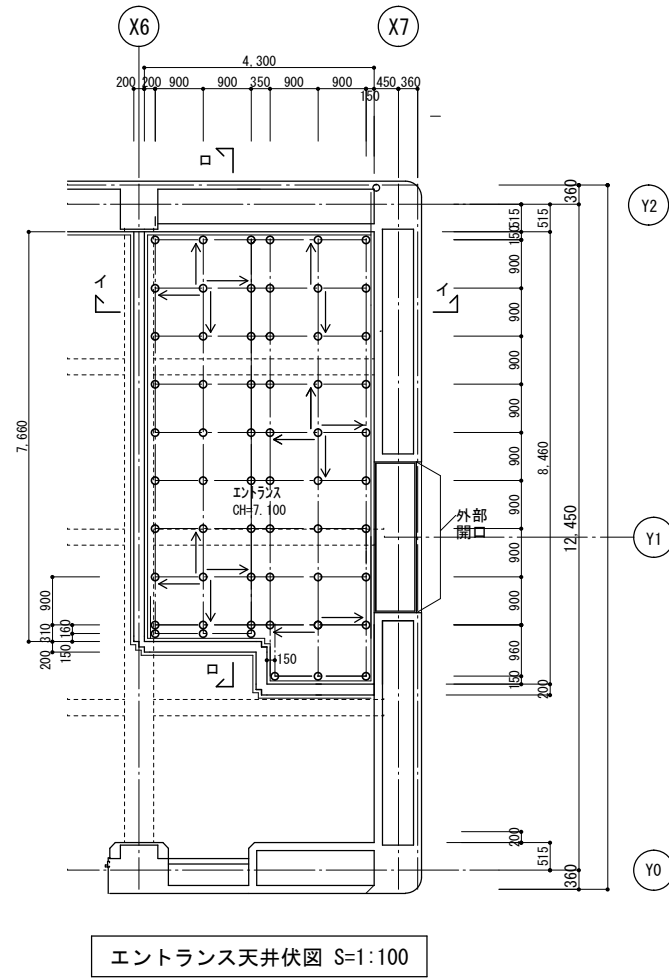


工事名	本庁舎3号館天井改修工事		設計者資格 氏名			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	改修後 天井伏詳細図・断面詳細図	図番	A-12	縮尺	1:10, 1:20, 1:100 (A-2)	作図	令和 5年 4月 日		



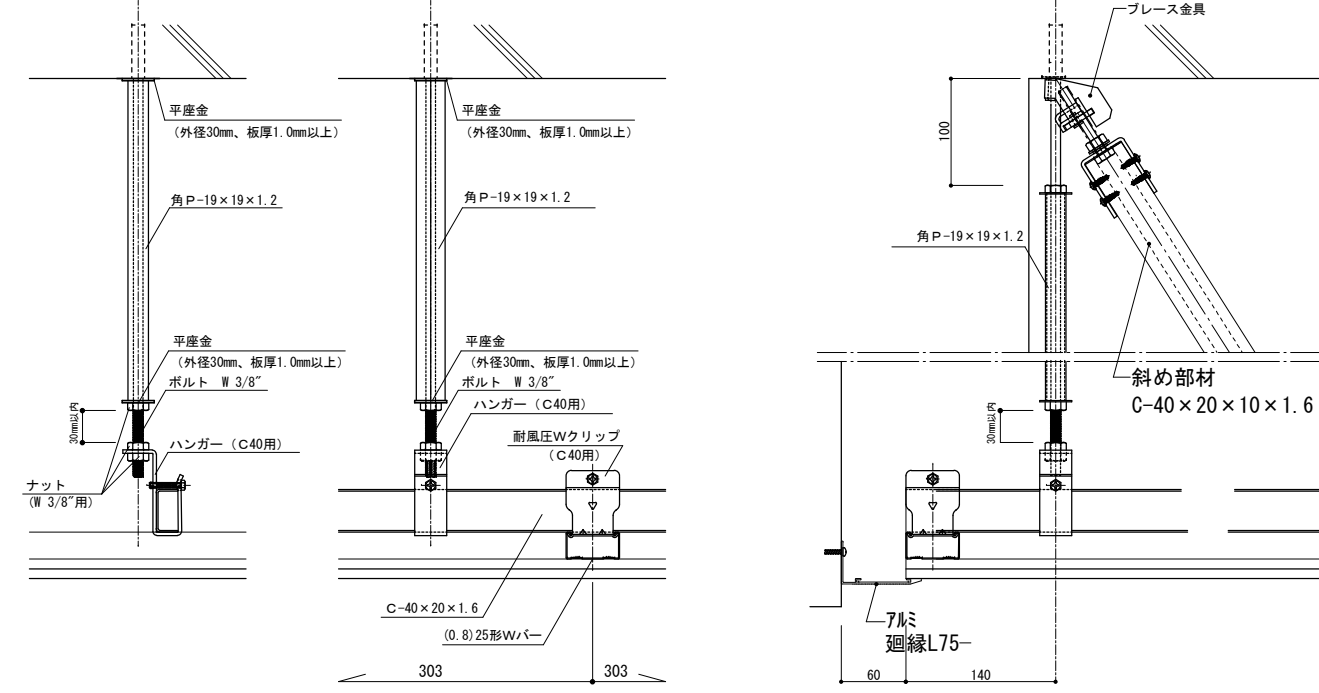
□~□ 断面詳細図 S=1:20

イ~イ 断面詳細図 S=1:20

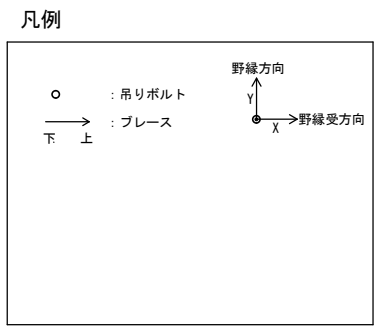


エントランス天井伏図 S=1:100

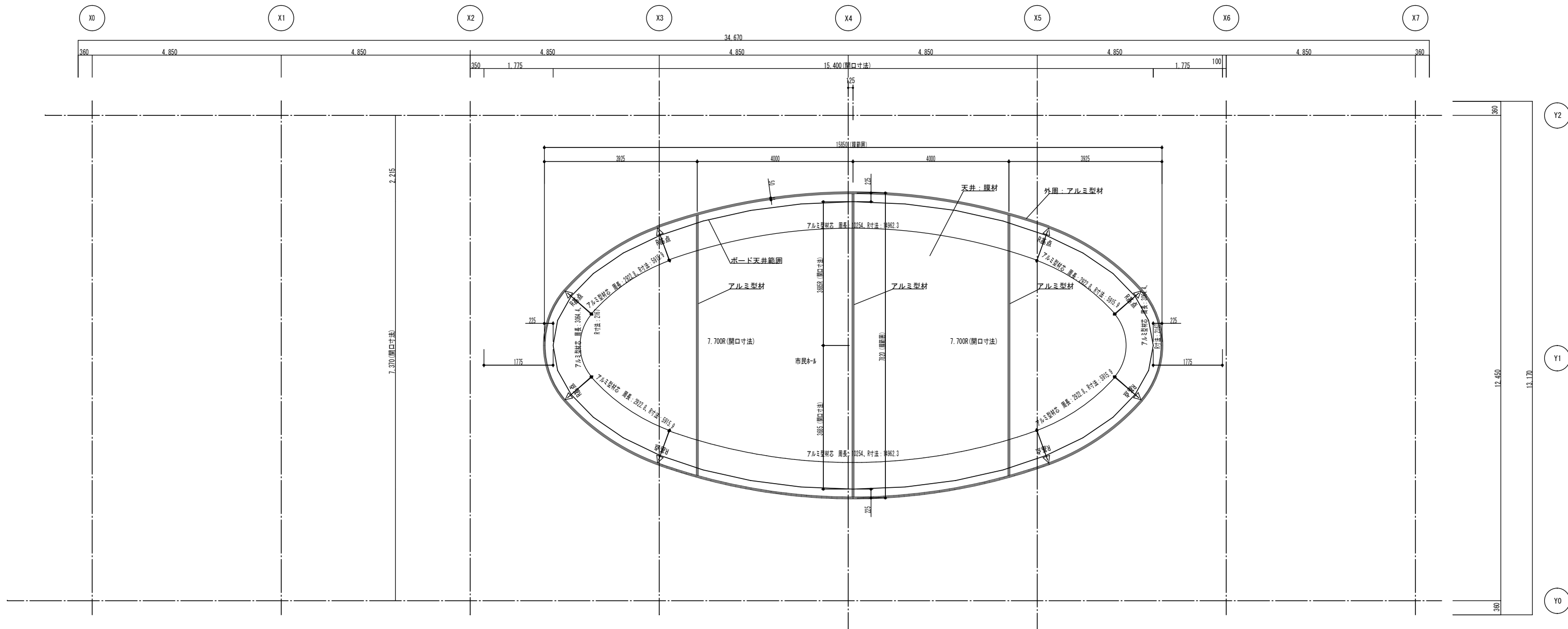
□ 圧縮補強材 詳細図 S=1:20



吊りボルト: W3/8" (3分)  
補強用パイプ: 角P19x19

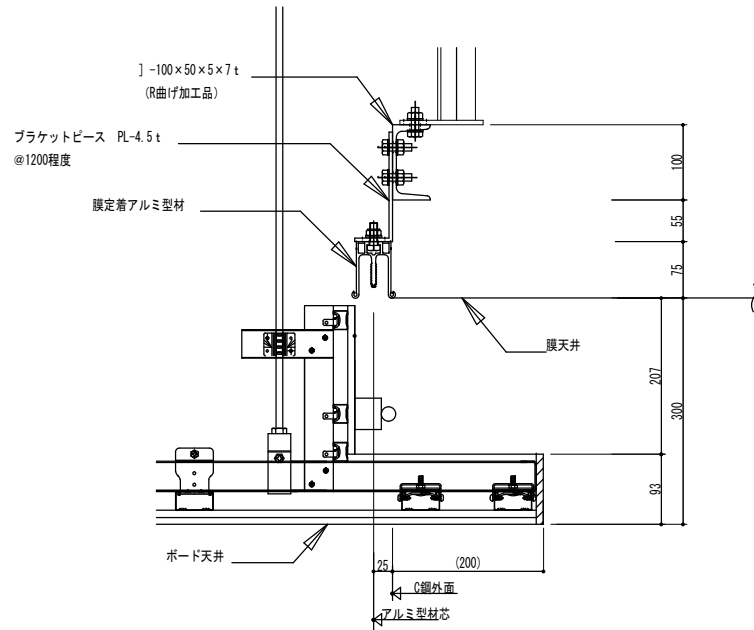
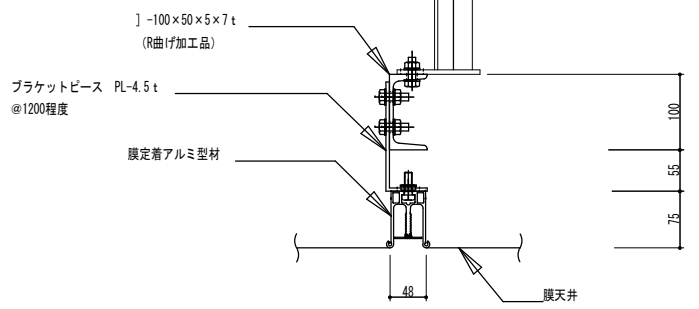


工事名	本庁舎3号館天井改修工事		設計者資格氏名			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	エントランス天井伏図・断面詳細図	図番	A-13	縮尺	1:20, 1:100 (A-2)	作図	令和5年4月日		



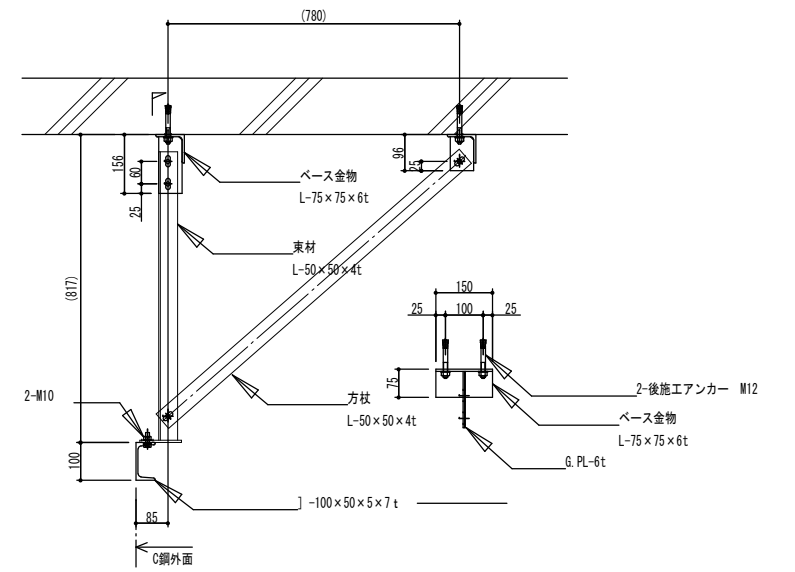
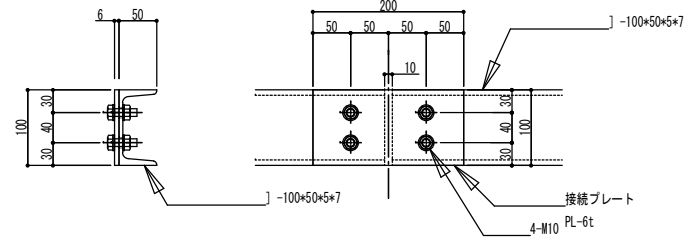
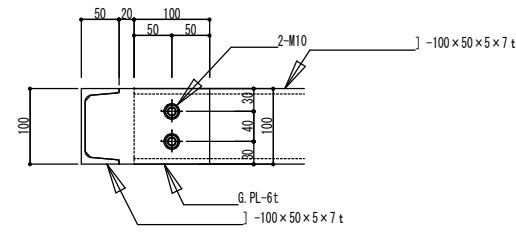
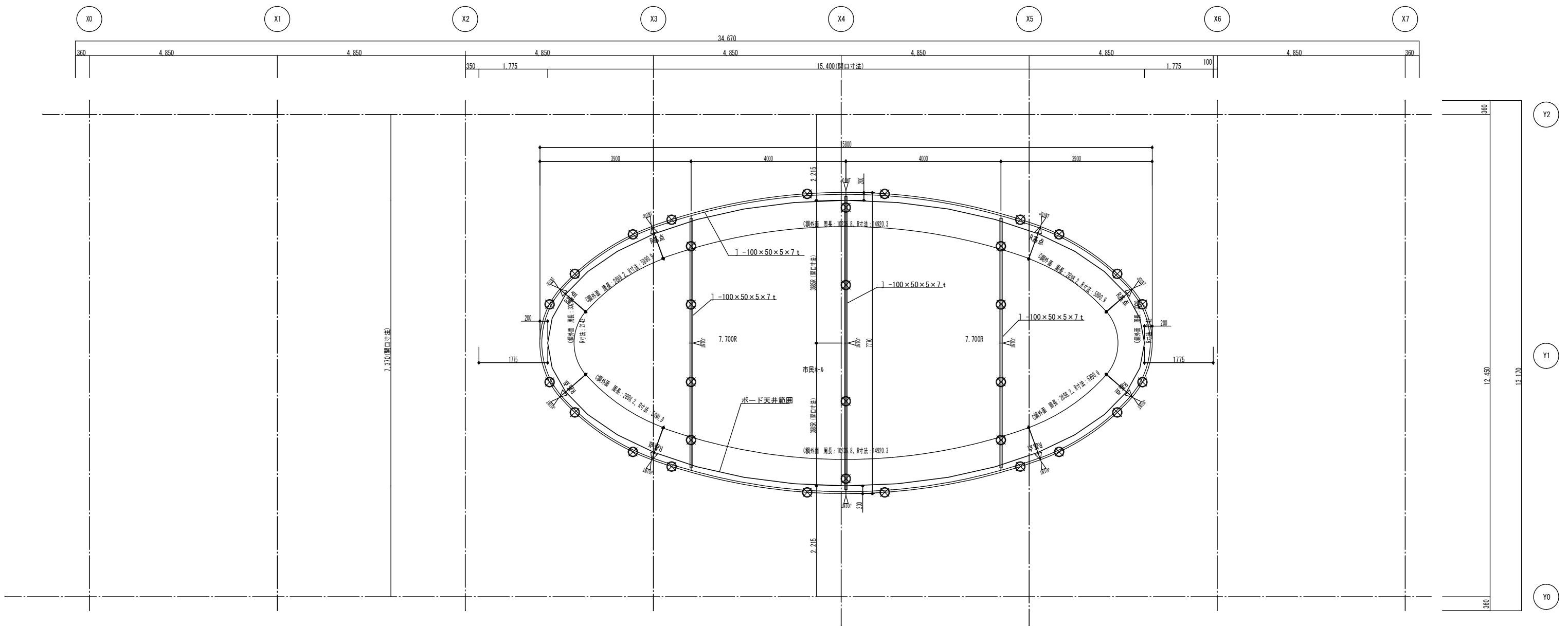
吸音天井膜材  
(膜厚: 0.47mm、不燃材料認定品 NM-4223-1、NRC値: 0.69)

膜定着金物: アルミ型材 (A6N01-T5)  
アルマイトクリア仕上げ  
※平面R部分は曲げ加工とする。



工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	改修後 膜天井・天井伏図	図番	A-14	縮尺	1:100 (A-2)	作図	令和5年4月 日				





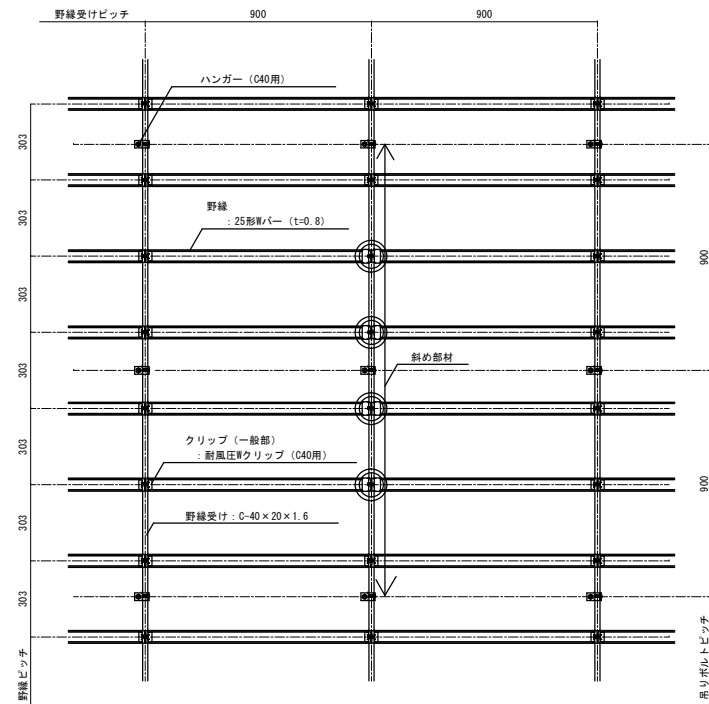
※ 鉄骨塗装：錆止め塗料塗り (JIS K5674)

工事名	本庁舎3号館天井改修工事		設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	改修後 膜天井・下地鉄骨伏図	図番	A-15	縮尺	1:100 (A-2)	作図	令和 5 年 4 月 日	

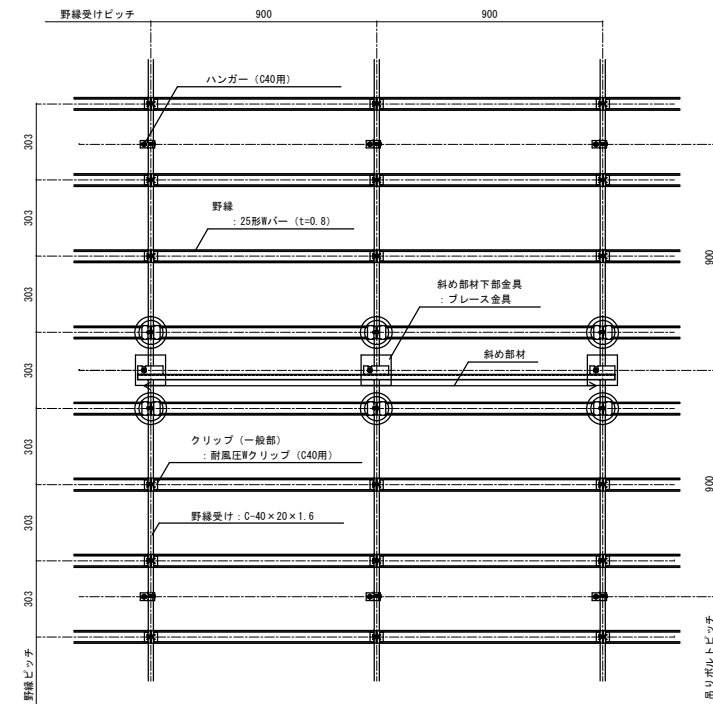
耐震天井 仕様標準図

□各部材の平面配置図

○斜め部材が野縁受け方向に配置される場合



○斜め部材が野縁方向に配置される場合

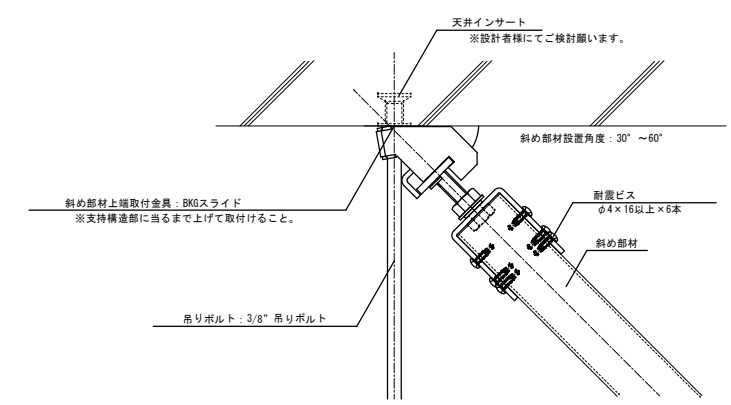


※野縁方向・野縁受け方向の斜め部材が近接する場合  
クリップ補強部が重なる箇所については、省略が可能です。

□ 斜め部材下部金具：プレス金具  
○ クリップ（補強部）：耐風圧クリップ（C40用）+ワカパー  
※耐震ビス：φ4×16以上×5本

□斜め部材上部及び吊りボルト納まり図

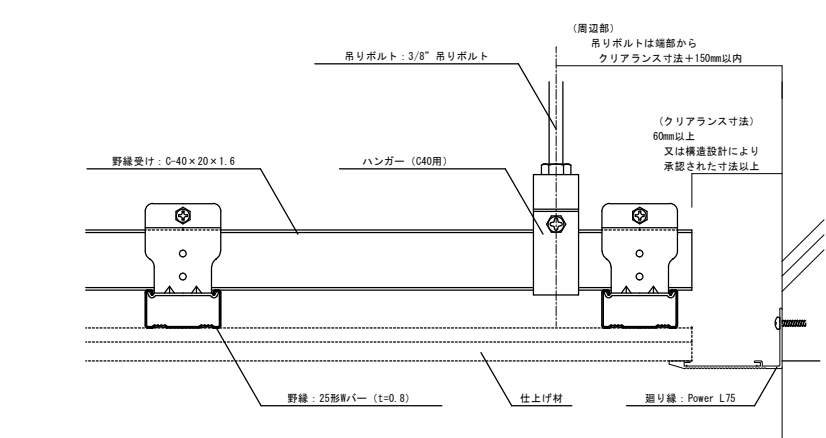
[ 単位:mm, 縮尺:1/5 ]



□端部・段差部クリアランス詳細

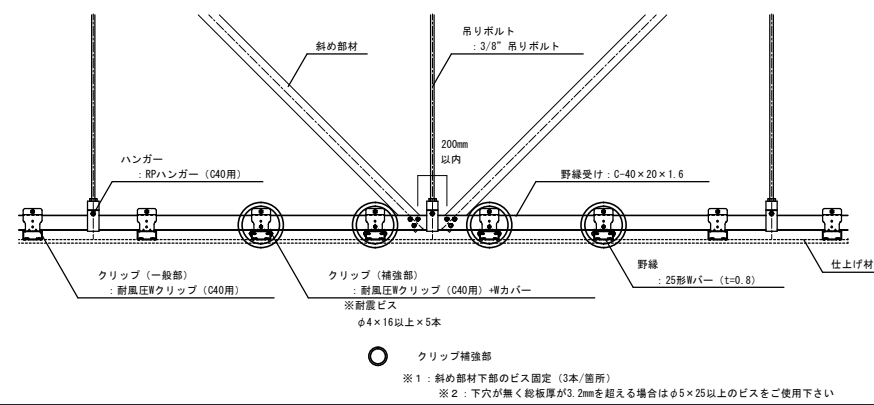
○端部（廻り縁を使用した場合）

[ 単位:mm, 縮尺:1/5 ]

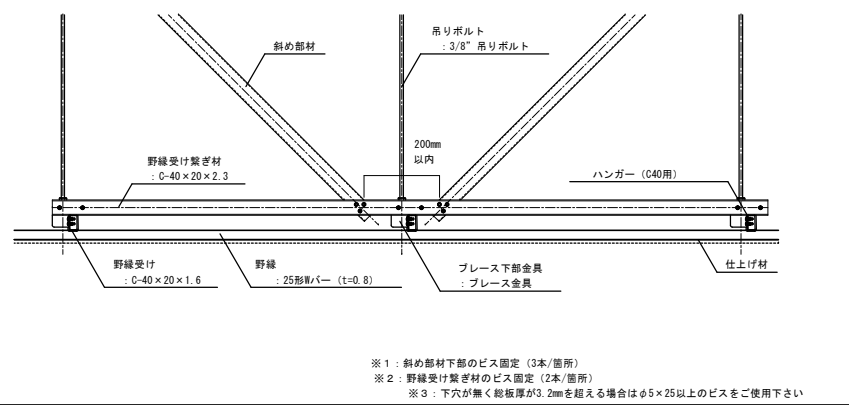


□斜め部材下部納まり図

○野縁方向断面図

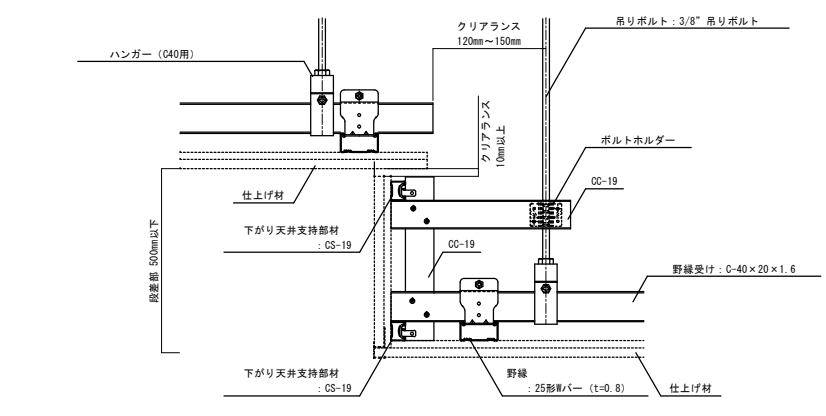


○野縁受け方向断面図



○段差部

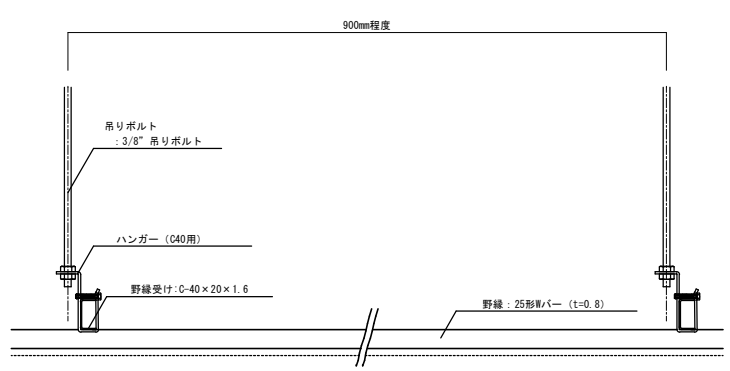
[ 単位:mm, 縮尺:1/10 ]



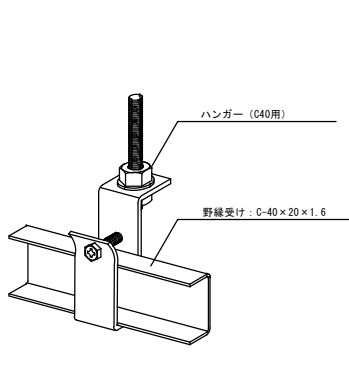
□接合部の納まり図

○ハンガー納まり図

[ 単位:mm, 縮尺:1/10 ]

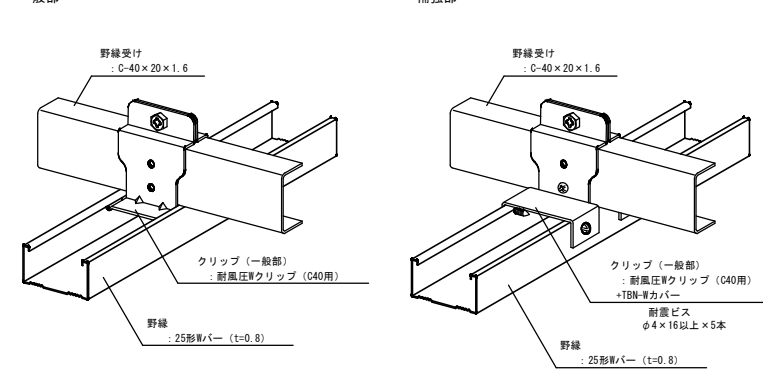


[ 単位:mm, 縮尺:1/5 ]

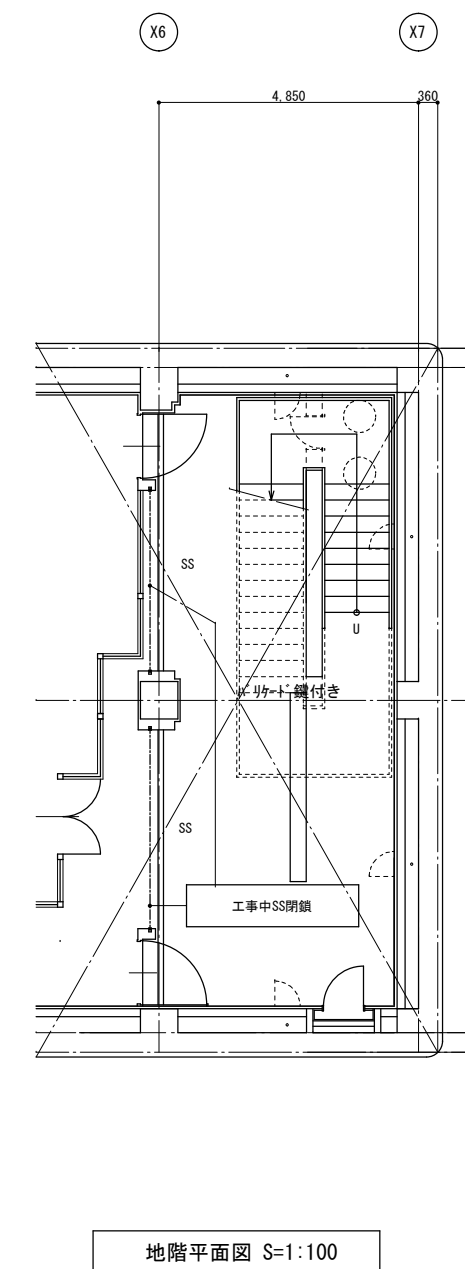
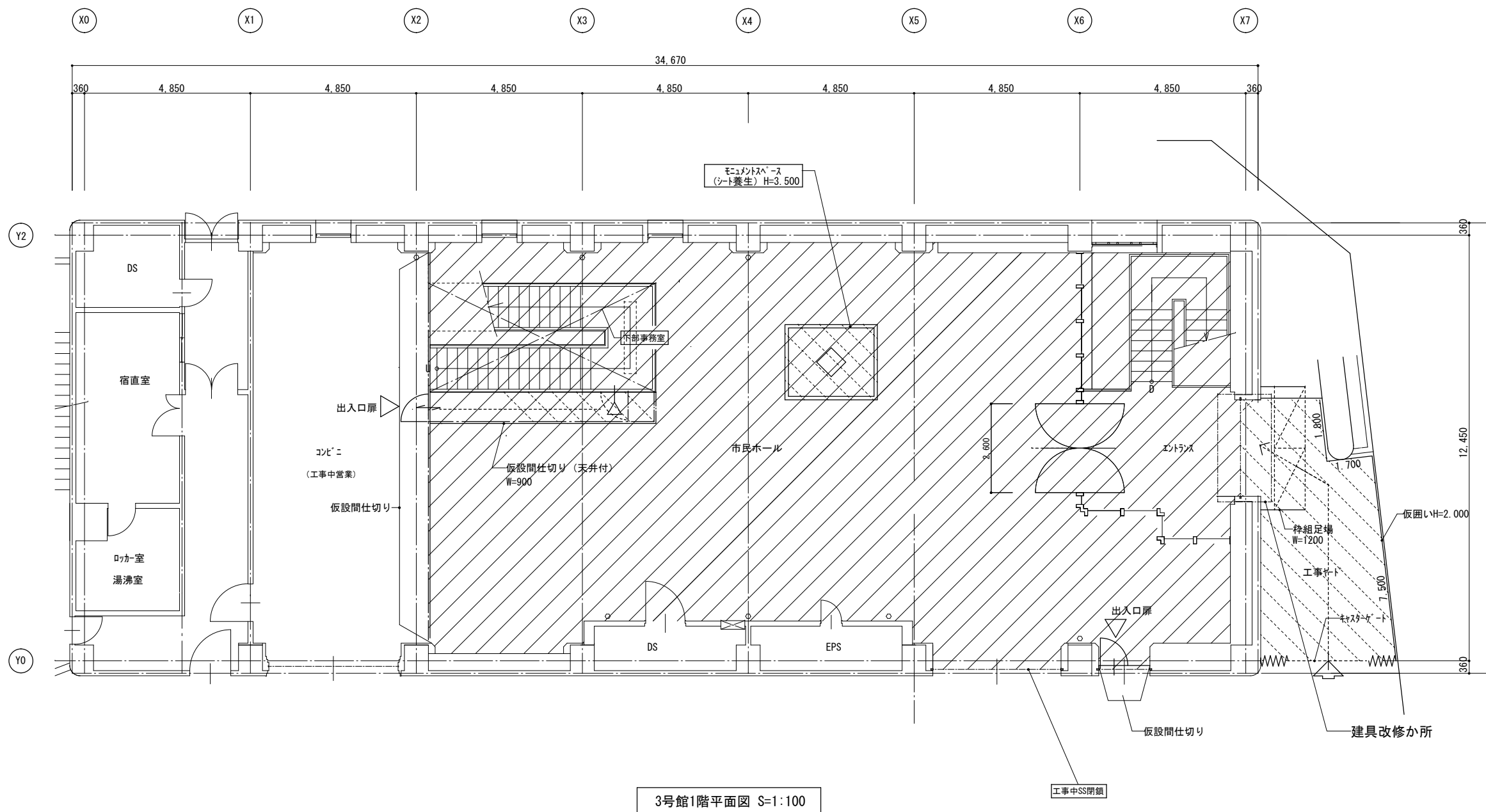


○クリップ納まり図

[ 単位:mm, 縮尺:1/5 ]



工事名	本庁舎 3号館天井改修工事	設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	耐震天井仕様標準図	図番	A-16	縮尺	1:5, 1:10, 1:20, 1:30 (A-2)	作図	



凡例



- ・養生 (シフト養生+養生<sup>h</sup>ニt12)
- ・天井改修範囲: 枠組本足場W=900 (内壁等改修用) + 枠組棚足場 (盛替えなし)

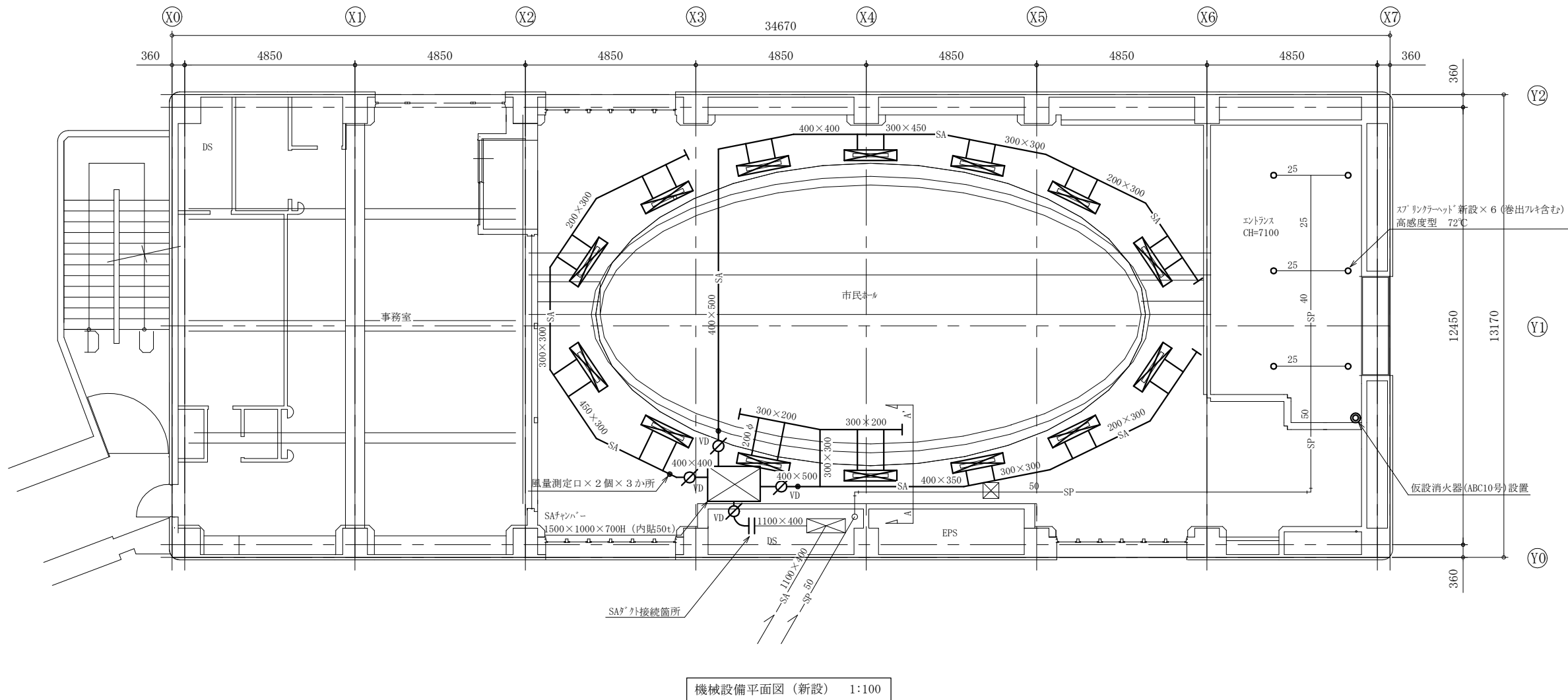
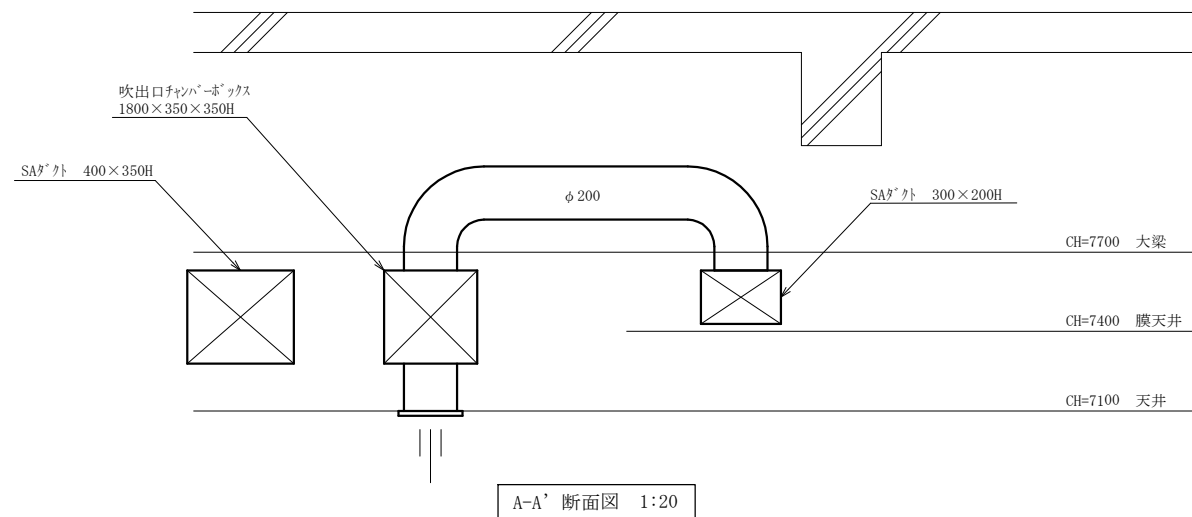
工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格 氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部建築計画課
図面名称	仮設計画図 (参考)	図番	A-17	縮尺	1:100 (A-2)	作図	令和5年4月日				

■凡例（空調）■

記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装等	備考
—SA—	SAダクト	屋内隠蔽	亜鉛鋼板製矩形ダクト 断熱材付フレキシブルダクト	I・(ロ)・IX —	— —

■凡例（消火）■

記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装等	備考
—SP—	スプリンクラー管	屋内隠蔽	SGP	—	—



■制気口表（新設）■

市民ホール	吹出口
BL-D 1500	7#製
815 m <sup>3</sup> /h	14 個
吹出口チャーンボックス 1800×350×350H (GW-25 内貼)	

※BL-Dは結露防止型とする。

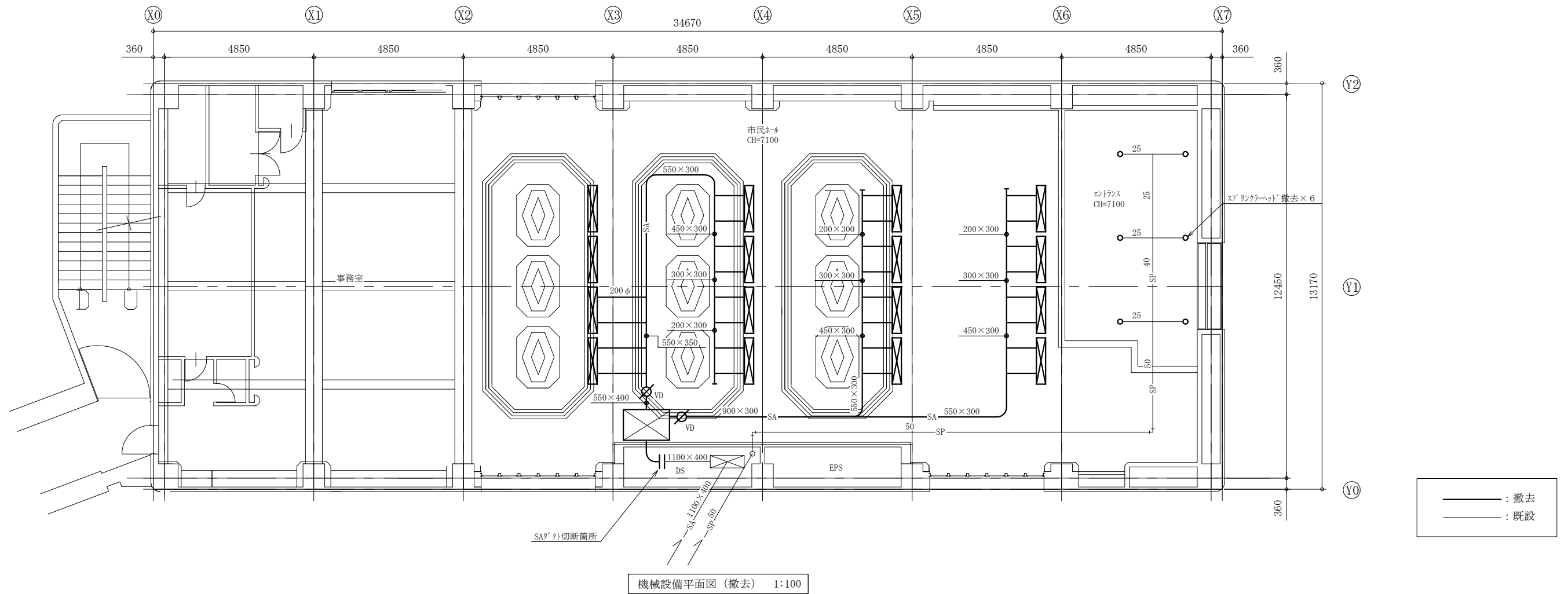
— : 新設  
— : 既設

工事名	本庁舎3号館天井改修工事		設計者資格氏名	級建築士登録第 号		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	凡例(消火、空調)、A-A'断面図 機械設備平面図（新設）	図番	M-01	縮尺	1:100 1:20(A2)	作図	令和5年4月 日		

■制気口表 (撤去) ■

市民ホ-ル	吹出口
BL-D 1500	76ミ製
815 m3/h	14 個
吹出口チャンバ-ボックス (GW-25 内貼)	1700×300×400H

市民ホ-ル	吹出口
BL-D 1500	76ミ製
m3/h	2 個
ガ-ミ用	



工事名	本庁舎3号館天井改修工事			設計者資格氏名	級建築士登録第 号			課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 建築計画課
図面名称	機械設備平面図 (撤去)	図番	M-02	縮尺	1:100 (A2)	作図	令和5年4月 日				